

目 次

事業概要

法人基本理念	1
法人の歩み	1
法人の施設概要	5
法人の組織体制	8
理事会、評議員会の開催	9
理事、監事、評議員名簿	11
事務局運営	12

各事業報告

【障害関連事業】

* 豊岡就労支援事業所「麦の家」	16
* 江ヶ崎生活介護事業所	17
* グループホーム 彩 事業所	18
* ヘルパーステーション木の葉	20
* つるみ地域生活支援センター	21
* 障がい者後見的支援室「りんくるつるみ」	28
* つるみ地域活動ホーム幹	30
* あそびのひろば こかげ	37

【横浜市指定管理事業】

* 鶴見市場地域ケアプラザ「ゆうづる」	39
* 鶴見市場コミュニティハウス「ゆうづる」	49

事業概要

(1) 法人基本理念

- 地域で暮らす何らかの支援を必要とする障がい者・高齢者・児童等のひとりひとりの権利を尊重し、自己決定を支援する。
- 住みなれた鶴見区という「地域（まち）」の中で安心して暮らせるよう支援する。
- 障がい者・高齢者・児童やその家族の思いや願いに共感する姿勢を持ち、その実現に努力する。
- ノーマライゼーション原理に基づく共生社会の実現に努める。

(2) 法人のあゆみ

年 月 日	内 容 等								
平成 11 年 11 月 2 日	横浜市から社会福祉法人の設立認可。(横浜市福監指令第 43 号)								
平成 11 年 11 月 25 日	法人設立登記日								
平成 12 年 11 月 1 日	身体障害者デイサービス (20 人/日定員)、知的障害者デイサービス (20 人/日定員)、一時ケア・ショートステイ事業、おもちゃ文庫事業、余暇活動支援事業等を実施する「つるみ地域活動ホーム幹」の運営を開始。 ※デイサービス事業については、平成 15 年 4 月 1 日に支援費制度へ移行。								
平成 13 年 10 月 1 日	「知的障害者自立生活アシスタント派遣事業」の受託。								
平成 13 年 10 月 15 日	「障害者ケアマネジメント推進事業」を受託。(平成 14 年 2 月 14 日終了)								
平成 14 年 7 月 1 日	「横浜市障害者等ホームヘルパー派遣 (滞在型) 事業」を受託 (平成 15 年 4 月 1 日支援費制度へ移行)								
平成 15 年 4 月 1 日	<p>【支援費制度】居宅介護事業 (身体・知的・児童) 開始。 事業所名称：ヘルパーステーション木の葉</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名称</th> <th>事業所番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>身体障害者居宅介護事業</td> <td>14100100140112</td> </tr> <tr> <td>知的障害者居宅介護事業</td> <td>14100200140111</td> </tr> <tr> <td>児童居宅介護事業</td> <td>14100300140110</td> </tr> </tbody> </table>	事業名称	事業所番号	身体障害者居宅介護事業	14100100140112	知的障害者居宅介護事業	14100200140111	児童居宅介護事業	14100300140110
事業名称	事業所番号								
身体障害者居宅介護事業	14100100140112								
知的障害者居宅介護事業	14100200140111								
児童居宅介護事業	14100300140110								
平成 15 年 4 月 1 日	<p>【支援費制度】デイサービス事業 (身体・知的) 開始。 事業所名称：つるみ地域活動ホーム幹</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>事業名称</th> <th>事業所番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>身体障害者デイサービス事業</td> <td>14100100177122</td> </tr> <tr> <td>知的障害者デイサービス事業</td> <td>14100200177121</td> </tr> </tbody> </table>	事業名称	事業所番号	身体障害者デイサービス事業	14100100177122	知的障害者デイサービス事業	14100200177121		
事業名称	事業所番号								
身体障害者デイサービス事業	14100100177122								
知的障害者デイサービス事業	14100200177121								
平成 15 年 4 月 1 日	重度重複障害者デイサービス事業を受託 (5 人/日定員)								

平成 16 年 2 月 1 日	<p>【支援費制度】 知的障害者地域生活援助事業（グループホーム）開始。 事業所名称：「樫の木ハイツ」（定員 5 人）</p> <table border="1" data-bbox="655 259 1390 356"> <tr> <th>事業名称</th> <th>事業所番号</th> </tr> <tr> <td>知的障害者地域生活援助事業</td> <td>14100200528141</td> </tr> </table>	事業名称	事業所番号	知的障害者地域生活援助事業	14100200528141				
事業名称	事業所番号								
知的障害者地域生活援助事業	14100200528141								
平成 16 年 4 月 1 日	<p>鶴見区学齢障害児等余暇活動支援事業の実施。 ●平成 16 年度余暇支援試行事業として“ワン・ピース！”を実施。 ※報告書「気軽に出かけたい、遊びたい」を作成。 ●平成 17 年度余暇活動支援試行事業として“ふしぎなポケット”を実施。 ※報告書「“ぽけっと” いっぱいのふしぎ」を作成。</p>								
平成 16 年 10 月 1 日	<p>【支援費制度】 知的障害者地域生活援助事業（グループホーム）開始。 事業所名称：「楠の木ハイツ」（定員 4 人）</p> <table border="1" data-bbox="655 857 1390 954"> <tr> <th>事業名称</th> <th>事業所番号</th> </tr> <tr> <td>知的障害者地域生活援助事業</td> <td>14100200618140</td> </tr> </table>	事業名称	事業所番号	知的障害者地域生活援助事業	14100200618140				
事業名称	事業所番号								
知的障害者地域生活援助事業	14100200618140								
平成 17 年 12 月 1 日	<p>横浜市鶴見市場地域ケアプラザ指定管理者の指定を受ける。 指定根拠：横浜市地域ケアプラザ条例第 5 条 指定期間：平成 22 年 3 月 31 日まで 横浜市鶴見市場コミュニティハウス指定管理者の指定を受ける。 指定根拠：横浜市地区センター条例第 5 条第 4 項</p>								
平成 18 年 1 月 1 日	<p>横浜市鶴見市場地域ケアプラザ・コミュニティハウス運営開始。 ●横浜市鶴見市場地域ケアプラザ 通所介護事業所（定員 30 人）</p> <table border="1" data-bbox="655 1520 1238 1617"> <tr> <th>サービス種類</th> <th>事業所番号</th> </tr> <tr> <td>通所介護</td> <td>1470101377</td> </tr> </table> <p>●横浜市鶴見市場地域ケアプラザ 居宅介護支援事業所</p> <table border="1" data-bbox="655 1668 1238 1765"> <tr> <th>サービス種類</th> <th>事業所番号</th> </tr> <tr> <td>居宅介護支援事業</td> <td>1470101369</td> </tr> </table>	サービス種類	事業所番号	通所介護	1470101377	サービス種類	事業所番号	居宅介護支援事業	1470101369
サービス種類	事業所番号								
通所介護	1470101377								
サービス種類	事業所番号								
居宅介護支援事業	1470101369								
平成 18 年 4 月 1 日	<p>【支援費制度】 児童デイサービス事業開始 事業名称：あそびのひろば こかげ（10 人/日定員）</p>								

平成 18 年 10 月 1 日	<p>【障害者自立支援法】</p> <p>1 指定障害者福祉事業所</p> <p>●活動ホーム幹 経過的デイサービス事業（身体 20 人知的 23 人）</p> <table border="1" data-bbox="655 309 1235 405"> <tr> <td>サービス種類</td> <td>事業所番号</td> </tr> <tr> <td>経過的デイサービス</td> <td>1460100280</td> </tr> </table> <p>●ヘルパーステーション木の葉 居宅介護・重度訪問介護事業所</p> <table border="1" data-bbox="655 501 1235 647"> <tr> <td>サービス種類</td> <td>事業所番号</td> </tr> <tr> <td>居宅介護 重度訪問介護</td> <td>14101000042</td> </tr> </table> <p>●樫の木ハイツ 共同生活援助・介護事業所</p> <table border="1" data-bbox="655 696 1235 842"> <tr> <td>サービス種類</td> <td>事業所番号</td> </tr> <tr> <td>共同生活援助 共同生活介護</td> <td>1420100172</td> </tr> </table> <p>●あそびのひろば こかげ 児童デイサービス事業所</p> <table border="1" data-bbox="655 891 1235 987"> <tr> <td>サービス種類</td> <td>事業所番号</td> </tr> <tr> <td>児童デイサービス</td> <td>1410100281</td> </tr> </table> <p>●つるみ地域生活支援センター 相談支援事業所</p> <table border="1" data-bbox="655 1037 1235 1133"> <tr> <td>サービス種類</td> <td>事業所番号</td> </tr> <tr> <td>相談支援</td> <td>1430100329</td> </tr> </table> <p>2 地域生活支援事業</p> <p>●ヘルパーステーション木の葉 移動支援事業所</p> <table border="1" data-bbox="655 1229 1235 1326"> <tr> <td>サービス種類</td> <td>事業所番号</td> </tr> <tr> <td>移動支援</td> <td>1460100157</td> </tr> </table>	サービス種類	事業所番号	経過的デイサービス	1460100280	サービス種類	事業所番号	居宅介護 重度訪問介護	14101000042	サービス種類	事業所番号	共同生活援助 共同生活介護	1420100172	サービス種類	事業所番号	児童デイサービス	1410100281	サービス種類	事業所番号	相談支援	1430100329	サービス種類	事業所番号	移動支援	1460100157
サービス種類	事業所番号																								
経過的デイサービス	1460100280																								
サービス種類	事業所番号																								
居宅介護 重度訪問介護	14101000042																								
サービス種類	事業所番号																								
共同生活援助 共同生活介護	1420100172																								
サービス種類	事業所番号																								
児童デイサービス	1410100281																								
サービス種類	事業所番号																								
相談支援	1430100329																								
サービス種類	事業所番号																								
移動支援	1460100157																								
平成 19 年 2 月 1 日	<p>【障害者自立支援法】 共同生活介護事業 共同生活住居：けやきハイツ（5 人定員）開所</p>																								
平成 20 年 3 月 1 日	<p>●横浜市障害児居場所づくり事業 事業名称：あそびのひろば こかげ（10 人/日定員）</p>																								
平成 20 年 6 月 1 日	<p>【障害者自立支援法】 共同生活介護事業 共同生活住居：さくらの木ハイツ（5 人定員）開所</p>																								
平成 22 年 4 月 1 日	<p>【障害者自立支援法】 就労継続支援 B 型事業 豊岡就労支援事業所「^{ぼく}麦の家」（20 人/日定員）開所</p> <table border="1" data-bbox="628 1767 1208 1863"> <tr> <td>サービス種類</td> <td>事業所番号</td> </tr> <tr> <td>就労継続支援 B 型</td> <td>1410100588</td> </tr> </table>	サービス種類	事業所番号	就労継続支援 B 型	1410100588																				
サービス種類	事業所番号																								
就労継続支援 B 型	1410100588																								
平成 23 年 3 月 25 日	<p>【障害者自立支援法】 共同生活介護事業 共同生活住居：ももの木ハイツ（5 人定員）開所</p>																								

平成 23 年 3 月 25 日	共同生活住居：くりの木ハイツ（5 人定員）開所 <table border="1" data-bbox="655 154 1236 255"> <tr> <td>サービス種類</td> <td>事業所番号</td> </tr> <tr> <td>共同生活介護</td> <td>1420100172</td> </tr> </table>	サービス種類	事業所番号	共同生活介護	1420100172
サービス種類	事業所番号				
共同生活介護	1420100172				
平成 23 年 6 月 1 日	【介護保険法】 認知症対応型通所介護事業 ●横浜市鶴見市場地域ケアプラザ（予防）認知症対応型通所介護事業所（12 人/日定員）開所 <table border="1" data-bbox="628 443 1426 544"> <tr> <td>サービス種類</td> <td>事業所番号</td> </tr> <tr> <td>（予防）認知症対応型通所介護事業</td> <td>1490100144</td> </tr> </table>	サービス種類	事業所番号	（予防）認知症対応型通所介護事業	1490100144
サービス種類	事業所番号				
（予防）認知症対応型通所介護事業	1490100144				
平成 25 年 1 月 1 日	【障害者自立支援法】 共同生活介護／援助事業 共同生活住居：ゆずの家（6 人定員）開所 <table border="1" data-bbox="655 674 1236 824"> <tr> <td>サービス種類</td> <td>事業所番号</td> </tr> <tr> <td>共同生活介護 共同生活援助</td> <td>1420100172</td> </tr> </table>	サービス種類	事業所番号	共同生活介護 共同生活援助	1420100172
サービス種類	事業所番号				
共同生活介護 共同生活援助	1420100172				
平成 25 年 2 月 1 日 平成 26 年 2 月 1 日	●横浜市障害者後見的支援推進事業 事業所名：障がい者後見的支援室りんくるつるみ開所 【児童福祉法】 指定障害児通所施設事業 事業所名称：あそびのひろばこかげ 従たる事業所：放課後等デイサービス わたげ 開所 <table border="1" data-bbox="655 1115 1291 1216"> <tr> <td>サービス種類</td> <td>事業所番号</td> </tr> <tr> <td>放課後等デイサービス</td> <td>1450100036</td> </tr> </table>	サービス種類	事業所番号	放課後等デイサービス	1450100036
サービス種類	事業所番号				
放課後等デイサービス	1450100036				
平成 26 年 5 月 1 日	【障害者総合支援法】 生活介護事業 ●江ヶ崎生活介護事業所開所 <table border="1" data-bbox="655 1319 1291 1420"> <tr> <td>サービス種類</td> <td>事業所番号</td> </tr> <tr> <td>生活介護事業</td> <td>1410100935</td> </tr> </table>	サービス種類	事業所番号	生活介護事業	1410100935
サービス種類	事業所番号				
生活介護事業	1410100935				

(3) 法人の施設概要

■ 敷地概要

① つるみ地域活動ホーム幹

所在地	横浜市鶴見区北寺尾四丁目 21 番 20 号
敷地面積	1 4 2 5 . 76 m ² (横浜市から無償貸借)
用途地域	第一種低層住宅専用地域
	第一種高度地区
	第三種風致地区 宅地造成工事規制区域

■ 施設概要

① つるみ地域活動ホーム幹

階 数	地下1階 地上2階建
構 造	鉄筋コンクリート造
建築面積	5 7 0 . 41 m ²
延床面積	1 2 0 1 . 11 m ²

② ヘルパーステーション木の葉・・・賃借

所在地	横浜市鶴見区豊岡町三丁目 4 番 リコービル5階
階 数	地上5階建の1階101号室
構 造	鉄筋コンクリート造
借用面積	7 5 . 08 m ²

③ つるみ地域生活支援センター

(「幹」相談支援室、障がい者後見的支援室りんくるつるみ)・・・賃借

所在地	横浜市鶴見区鶴見豊岡町三丁目 4 番 リコービル1階
階 数	地上5階建の1階
構 造	鉄筋コンクリート造
借用面積	7 5 . 08 m ²

④ グループホーム彩 檜の木ハイツ (グループホーム)・・・賃借

所在地	横浜市鶴見区鶴見中央二丁目
階 数	地上3階建の2階及び3階部分
構 造	鉄骨造陸屋根3階建
借用面積	2 7 0 . 5 m ²

⑤ 楠の木ハイツ（グループホーム）・・・賃借

所在地	横浜市鶴見区北寺尾二丁目
階数	地上2階建
構造	木造2階建
借用面積	126.87㎡

⑥ けやきハイツ（グループホーム）・・・賃借

所在地	横浜市鶴見区仲通三丁目
階数	地上3階建の1階及び2階部分
構造	鉄筋3階建
借用面積	125.96㎡

⑦ さくらの木ハイツ（グループホーム）・・・賃借

所在地	横浜市鶴見区岸谷一丁目
階数	地上3階建
構造	鉄筋3階建
借用面積	概ね129.73㎡

⑧ あそびのひろば こかげ・・・賃借

所在地	横浜市鶴見区鶴見中央三丁目 あしほ総合クリニック2階部分
階数	地上2階建
構造	鉄筋2階建
借用面積	概ね108㎡

⑨ 横浜市鶴見市場地域ケアプラザ・コミュニティハウスゆうづる・・・指定管理事業

所在地	横浜市鶴見区市場下町11-5
階数	地上2階建
構造	鉄筋コンクリート造
借用面積	1367.87㎡（延床面積）

⑩ 豊岡就労支援事業所「麦の家」・・・賃借

所在地	横浜市鶴見区豊岡町14-27
階数	地上2階建
構造	鉄筋コンクリート造
借用面積	概ね180㎡（延床面積）

⑪ 寺谷ホーム1号館ももの木ハイツ（グループホーム）・・・賃借

所在地	横浜市鶴見区寺谷
階数	地上2階建（1階部分）
構造	木造2階建
借用面積	162.72 m ² （延床面積）

⑫ 寺谷ホーム2号館くりの木ハイツ（グループホーム）・・・賃借

所在地	横浜市鶴見区寺谷
階数	地上2階建（2階部分）
構造	木造2階建
借用面積	158.16 m ² （延床面積）

⑬ ゆずの家（共同生活住居）・・・賃借

所在地	横浜市鶴見区東寺尾
階数	地上2階地下1階（駐車場）建
構造	木造2階建
借用面積	244.19 m ² （延床面積）

⑭ あそびのひろばこかげ わたげ・・・賃借

所在地	横浜市鶴見区豊岡町
階数	地上5階建（2階部分）
構造	鉄筋コンクリート造 陸屋根
借用面積	85.16 m ² （延床面積）

⑮ 江ヶ崎生活介護事業所・・・賃借

所在地	横浜市鶴見区江ヶ崎町
階数	地上2階建
構造	木造2階建
借用面積	310.5 m ² （延床面積）

(4) 法人の組織体制

平成26年度 法人概要

法人名称	社会福祉法人 大 樹					
設 立 認可日	平成11年11月2日認可					
代表者	理事長 横 山 茂					
法 人 所在地	横浜市鶴見区北寺尾四丁目21番20号					
電 話	045-585-9246	FAX	045-585-9247			
運営施設	豊岡就労支援事業所「麦の家」	賃貸	就労支援事業			
	江ヶ崎生活介護事業所	賃貸	生活介護事業			
	グループホーム彩事業所 檜の木ハイツ	賃貸	共同生活援助事業			
	〃 楠の木ハイツ	賃貸	共同生活援助事業			
	〃 けやきハイツ	賃貸	共同生活援助事業			
	〃 さくらの木ハイツ	賃貸	共同生活援助事業			
	〃 寺谷ホーム1号館 (ももの木ハイツ)	賃貸	共同生活援助事業			
	〃 寺谷ホーム2号館 (くりの木ハイツ)	賃貸	共同生活援助事業			
	〃 ゆずの家	賃貸	共同生活援助事業			
	ヘルパーステーション木の葉	賃貸	居宅・移動介護事業			
	つるみ地域生活支援センター	賃貸	幹相談支援室・後見的支援			
	つるみ地域活動ホーム 幹	法人所有	社会福祉法人型地域活動ホーム(障がい関連事業)			
	あそびのひろば こかげ	賃貸	児童発達支援事業 放課後等デイサービス事業			
	鶴見市場地域ケアプラザ・ コミュニティハウス	指定管理者	高齢・児童・障がい等 地域福祉保健事業			
役 員	理事定数	8人	現員	8人	任期満了日	平成27年11月24日
	監事定数	2人	現員	2人	任期満了日	平成27年11月24日
	評議員定数	17人	現員	17人	任期満了日	平成29年 3月25日
職 員	障害関連	197人	常 勤	65人	非常勤	132人
	ケアプラザ	48人	常 勤	16人	非常勤	32人
	計	245人	計	81人	計	164人

(5) 理事会、評議員会の開催

(1) 理事会・評議員会の開催

[第1回理事会] 通算63回

日時	平成26年5月24日(土曜日) 午前			
場所	つるみ地域活動ホーム幹 食堂			
出席者	理事	8人(定数8人) ※欠席なし	監事	1人
おもな議事等	① 平成25年度事業報告について ② 平成25年度収支決算及び監事監査報告について ③ 専任職員の賃金・手当に関する細則の改正について			

[第2回理事会] 通算64回

日時	平成26年11月9日(日曜日) 午後			
場所	つるみ地域活動ホーム幹 食堂			
出席者	理事	7人(定数8人) ※欠席1	監事	2人
おもな議事等	① 補正予算について ② 専任職員就業規則の改正について ③ 平成26年度上半期事業進捗状況について ④ 平成26年度上半期予算執行状況について ⑤ 第2期中期業務行動計画について ⑥ ヘルパーステーション木の葉運営体制の変更について ⑦ グループホーム彩運営関連報告 ・定員変更に伴う運営規程の改正について ・平成27年度障害グループホーム新規申請について ⑧ 鶴見市場地域ケアプラザ、コミュニティハウス指定管理公募結果について			

[第3回理事会] 通算65回

日時	平成27年3月22日(日曜日) 午前			
場所	つるみ地域活動ホーム幹 食堂			
出席者	理事	6人(定数8人) ※欠席2人	監事	2人
おもな議事等	① 補正予算について ② 平成27年度事業計画(案)について ③ 新会計基準の適用及び適用に伴う経理規程の全部改正について ④ 平成27年度収支予算(案)について ⑤ 新理事の同意について ⑥ 第三者委員の選考について ⑦ 役員報酬および費用弁償規定の改正について ⑧ 専任職員の賃金改定について ⑨ 評議員の一斉改選について			

[第1回評議員会] 通算33回

日 時	平成26年5月24日（土曜日）午前		
場 所	つるみ地域活動ホーム幹 食堂		
出席者	評議員	12人（定数17人）※欠席5	監事 1人
おもな議事等	① 平成25年度事業報告について ② 平成25年度収支決算及び監事監査報告について ③ 専任職員の賃金・手当に関する細則の改正について		

[第2回評議員会] 通算34回

日 時	平成26年11月9日（日曜日）午後		
場 所	つるみ地域活動ホーム幹 食堂		
出席者	評議員	14人（定数17人）※欠席3	監事 2人
おもな議事等	① 補正予算について ② 専任職員就業規則の改正について ③ 平成26年度上半期事業進捗状況について ④ 平成26年度上半期予算執行状況について ⑤ 第2期中期業務行動計画について ⑥ ヘルパーステーション木の葉運営体制の変更について ⑦ グループホーム彩運営関連報告 ・定員変更に伴う運営規程の改正について ・平成27年度障害グループホーム新規申請について ⑧ 鶴見市場地域ケアプラザ、コミュニティハウス指定管理公募結果について		

[第3回評議員会] 通算35回

日 時	平成27年3月22日（日曜日）午前		
場 所	つるみ地域活動ホーム幹 食堂		
出席者	評議員	14人（定数17人）※欠席3	監事 2人
おもな議事等	① 補正予算について ② 平成27年度事業計画（案）について ③ 新会計基準の適用及び適用に伴う経理規程の全部改正について ④ 平成27年度収支予算（案）について ⑤ 新理事の同意について ⑥ 第三者委員の選考について ⑦ 役員報酬および費用弁償規定の改正について ⑧ 専任職員の賃金改定について ⑨ 評議員の一斉改選について		

* ゴシックは規則等の改正

(6) 理事、監事名簿

任期 平成 25 年 11 月 25 日～平成 27 年 11 月 24 日

	氏 名
理事長	横山 茂
副理事長	橋口 紀枝
理 事	簡 照子
理 事	栩木 保匡
理 事	長崎 克一
理 事	土谷 又司郎
理 事	成富 正信
常務理事	斉藤 達之
監 事	山越 明
監 事	松村 順子

(7) 評議員名簿

平成 27 年 3 月 26 日 ～ 平成 29 年 3 月 25 日

	氏 名
評議員	宮本 豊子
評議員	松尾 忠夫
評議員	長谷山 景子
評議員	小笠原 英晃
評議員	河西 英彦
評議員	同前 壮一郎
評議員	成富 正信
評議員	栩木 保匡
評議員	橋口 紀枝
評議員	田代 孝子
評議員	後藤 博史
評議員	晝間 靖裕
評議員	岸本 進
評議員	阿久津 敏
評議員	野崎 和代
評議員	向山 智子
評議員	会田 裕康

(8) 事務局運営

ア 事務所の移転、開設及び指定管理業務の受託

・ヘルパーステーション木の葉の運営体制の見直し

障がい児者に特化した事業運営の再構築に向け、つるみ地域生活支援センターとの連携強化を行うことを目的に、事務所を移転した。(リコービル5階貸借)

家族も含めた利用者の高齢化、他事業所との競合等運営及び経営面での課題が多い事業であるが、障がい児者とその家族の在宅生活を支える貴重な接点でもあり、事業の拡充、撤退等あらゆる観点から継続的な議論が必要な事業運営となった。

・江ヶ崎生活介護事業所の開設

行動障がいを伴う自閉症及び重度知的障がい者の活動支援の強化を目的に「生活介護事業」の新規開設を実施した。

一人一人に合わせたわかりやすい活動の実施に併せて関係機関、アドバイザーと連携し安心につながる環境整備を行った。

・鶴見市場地域ケアプラザ、コミュニティハウスの指定管理受託

引き続き第3期の指定管理者に選ばれた。

イ 法人経営に関する会議の運営

・事業推進会議の開催

理事長、副理事長以下課長職以上の者の出席により原則月1回開催。

法人の課題、法律・制度の変更等の検討、対応、意見交換を行った。

・事務局担当者会議の開催

事務局長以下事務局職員により月1, 2回開催し、理事会、評議員会準備のほか、本部及び各施設の効率的な事務処理、人事労務関連の適切な対応について協議した。

ウ 障がい者雇用の促進及び情報公開の推進

・障害者雇用の促進

ゆうづる館内の清掃スタッフとして知的障がい者1名を採用した。

・法人に関する情報公開の推進

「決算報告」「事業報告」「現況報告」等を中心に、法人ホームページ及び横浜市ホームページでの情報公開を行った。

エ 人事、労務管理

(ア) 人材確保と育成

① 人材採用システムの強化—大手求人サイトの活用

従来のハローワーク、ホームページによる募集に加え、新たに「マイナビ」による募集を行った。また「マイナビ転職」による中途採用者の募集も行い、新採用者6名のうちそれぞれ2名採用できた。

ただし、ヘルパー、グループホーム及び介護保険事業の人材については、支援現場に対する不安や民間事業者の時給上昇競争等により、苦戦が続き、十分な人材確保に至らない状況が続いた。

② 新採用職員研修の実施

社会人及び組織人としての土台づくりとして4日間の研修を実施した。

特に新規学卒者(3人)については、同期同士の交流も目的に3月に研修を実施した。

③主任職の育成

法人の中核となる主任の育成と事業間連携を目的に月1回会議を開催した。

利用者、家族のニーズの共有や各施設の職場環境の向上等の課題について、職員間のコミュニケーションの促進やワークライフバランスの観点から解決策を共有することで働きやすい職場づくりにも取り組んだ。

④ 法人内部研修の充実

・現場職員の主導による3つのプロジェクトの実施

「権利擁護」「防災」「ドリーム大樹(法人設立15周年記念)」を実施した顔を合わせる機会が少ない他施設の職員との交流や期間が限られたなかでの仕事の進め方、発表方法の工夫等学びの機会となった。

・法人全体職員研修の開催

一般職員全職員を対象に研修を実施した。

国、市の施策、法律、制度の改正による福祉事業のあり方、方向性とこれからの法人経営について意識の共有を図った。

(イ) 良好な職場環境づくり

① 職員間のコミュニケーションの促進

上述した主任会議及び各プロジェクトの中で、法人の課題を通して職員間の交流を深めた。

特に「権利擁護プロジェクト」においては、コミュニケーション技法の学びを深め、法人全体研修会においても発表を行い、職員間のコミュニケーションの重要性について共有を行った。

② 長時間労働の改善—つるみ地域活動ホームにおける業務改善

特に「つるみ地域活動ホーム幹」における長時間勤務が課題となり、幹内において「業務改善プロジェクト」による議論を行った。

増加する利用者ニーズとそれに合わせて複雑化、煩雑化する業務状況について、プロジェクトチーム内での共通認識づくりを実施した。

まだまだ課題は山積しているが、「援助記録システムの導入」等援助現場の実態に合わせた業務改善を適宜検討し、実現化を図った。

オ 財務・経理関連

(ア) 会計・経理処理体制の適正化の推進

4月より「福祉医療コンシェルジュ」による月1回の巡回指導を開始。適正な経理処理の知識を深め、外部によるチェック体制を構築した。

また新会計基準への移行について、適宜会計事務所と打合せを行い、平成27年度への完全移行に向け、円滑に作業を進めることができた。

(イ) 効率的な経理処理体制の推進—本部分室の開設

施設及び事業の増加により、経理及び事務処理が煩雑化していることもあり、ヘルパーステーション木の葉の事務所移転に合わせ、「本部分室」を

開設した。

カ リスクマネジメント委員会の立上げ検討

(ア) 法人全体で取り組むトータルな事故分析、対応の着手

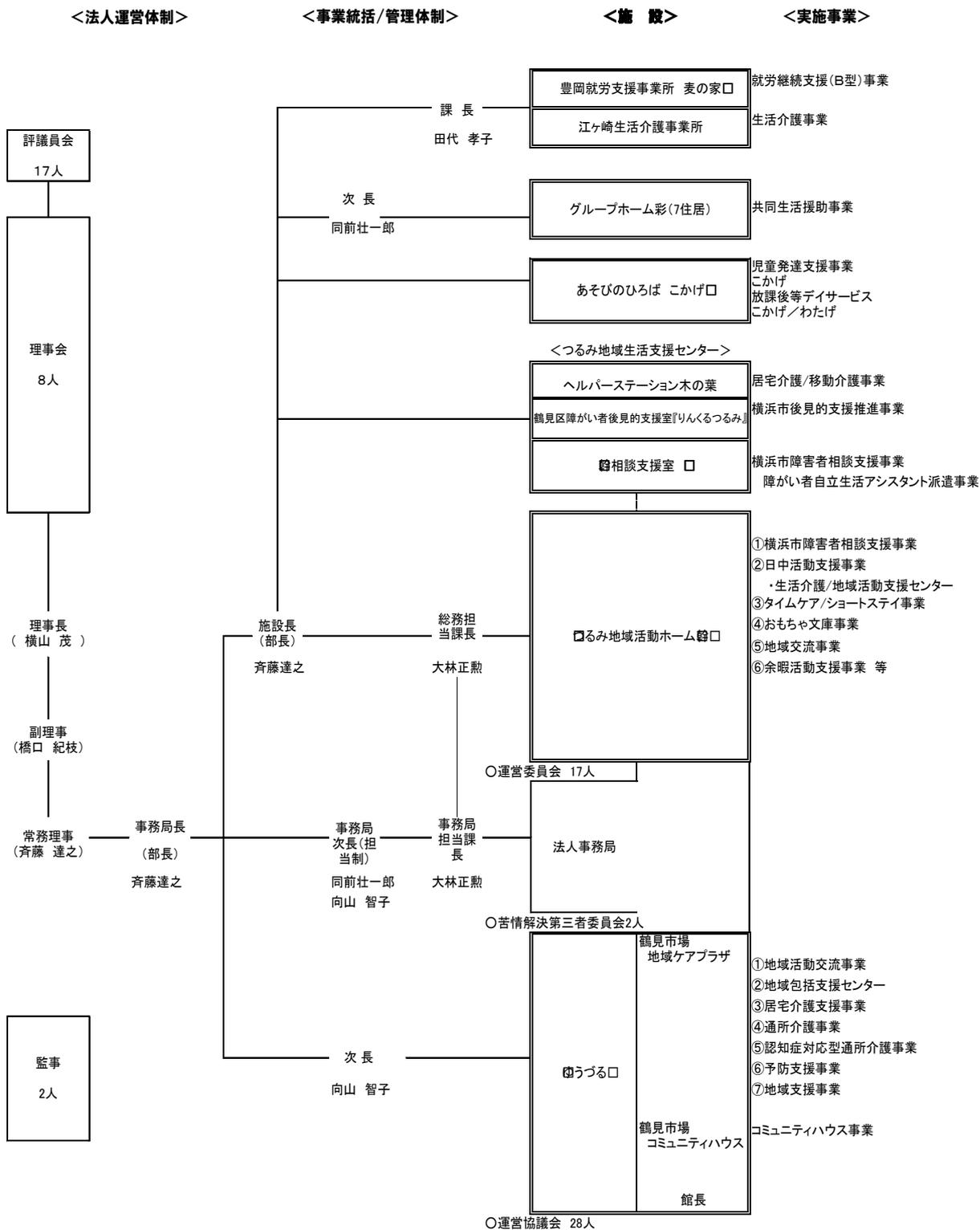
事故発生について注意喚起、研修等行う中で、事故発生の状況把握、用語、事故の定義を検討した結果、事故の減少、防止に向けたリスクマネジメント委員会の立ち上げを検討した。

<平成 26 年度 事故状況>

() 昨年度

	事故種別	障害福祉		高齢福祉
		幹	その他	ゆうづる
1	転倒、受傷	5(4)	10(3)	10(7)
2	感染症、食中毒	0(0)	0(0)	0(2)
3	異食、誤食、誤嚥	0(1)	0(0)	0(0)
4	誤薬、抜薬	3(3)	3(0)	0(1)
5	他者への危険行為、破損、迷惑行為	8(31)	7(7)	0(0)
6	行方不明、把握漏れ	1(3)	0(1)	0(0)
7	車両事故、送迎時、介助機器関連	15(7)	0(2)	1(3)
8	個人情報漏えい、権利侵害	0(2)	0(1)	1(1)
9	サービス提供漏れ	3(5)	0(1)	3(3)
10	その他	3(4)	1(2)	4(9)
	合計	38(60)	21(17)	19(26)

★H26年度 大樹組織体制



●豊岡就労支援事業所「麦の家」・・・【就労継続支援B型事業】

1 概況

就労支援の具体的な取り組み（ソフトスキル＝あいさつ、身だしなみ、ハウレンソウ-報告、連絡、相談-、身の回りの整理整頓）を重視し、支援を行った。

また、これまで以上の工賃を支給するために、店舗のリニューアル及び積極的な外部販売を行った。

2 実績

※参照資料・・・「資料1」

3 重点計画実施状況

(1) 工賃支払いの安定化

①店舗のリニューアル

4月1日からの消費税増税に伴い、パンや菓子類を値上げした。併せて顧客対策として専門家のアドバイスを受け、入りやすく、明るい店舗にリニューアルした。

また、春と秋の2回感謝セールを実施し、チラシを近隣地域住宅等にポスティングするなど集客を図り、売り上げを伸ばした。

②外部販売の強化

昨年にも増してイベント時の売り上げ強化を図った。地域の地区センターなど今まで参加していなかったところへも積極的に参加させていただき、定着している。イベントへの参加もより効率よく売れる商品を準備するなど工夫を行った。

上記2点の取り組みを実施し、年間売り上げが昨年に比べ約70万円向上したが、原材料費の高騰と利用者人数の増加により、賞与支給額が下がり、1人当たり工賃は計画目標の月20,000円にとどかなかった。

月々の工賃総額は昨年より上昇しているが、平均工賃は18,446円であった。

(昨年度は19,911円) 別紙資料1参照

(2) 一般就労への取り組みの強化

平成26年度は外部での一般就労はなかったが、1人が初めて法人内施設（ゆうづる）の雇用につながった。本人と職場との実習や情報交換を行いながら職場定着を図った。

1日外出研修では見学会として、羽田空港内の「ふじやベーカリーレストラン」を訪問し、パンの味や種類、接客などを学ぶ機会となった。

また、公共交通機関を使うことによって社会人としてのマナーや切符の買い方、乗り方などの体験を積むことができた。

●江ヶ崎生活介護事業所・・・【生活介護事業】

1 概況

行動障がいを伴う自閉症及び重度知的障がい者の日中活動支援の充実を目的に平成26年5月より事業を開始した。

特に本人、家族、関係機関から得た情報を重視し、わかりやすい、安心できる活動環境を整備し日中活動を提供した。

また、ボールペンの組立を中心とした受注作業と、掃除や食器洗いなどの生活スキル向上プログラムを重点的に行い、一人ひとりの自立（自律）につながる活動支援を行った。

2 実績

(1) 利用状況

①平均年齢 24.3歳

②平均障がい支援区分 5.1

<上半期>

単位：人／円

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
日数	—	15日	21日	22日	18日	20日
契約者数	—	6	6	6	7	8
延人数	—	66	91	105	89	118
平均人数	—	4	4	5	5	6
作業収入	—	5,145	15,885	19,530	18,640	17,045
平均工賃	—	960	1,344	1,552	1,264	680

<下半期>

単位：人／円

区分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
日数	21日	18日	19日	19日	19日	21日	213日
契約者数	10	10	10	10	10	10	-
延人数	168	121	154	149	148	165	1,374
平均人数	8	7	8	8	8	8	6
作業収入	10,775	14,170	23,110	17,995	20,665	14,610	177,960
平均工賃	1,344	1,112	1,232	1,192	1,208	1,320	7,366

3 重点計画実施状況

(1) 利用者の継続確保

翌年度卒業生8人、既卒者7人の実習を受け入れた結果、10月には契約者数が6人から10人となった。

(2) 本人を知り、力を引き出す環境の整備～「構造化」を柱とした支援の実施

家庭での生活（睡眠状況や食欲、土日の様子など）を記録した「生活記録」と、事業所で記録している「作業記録」を通じて得た情報を基に活動環境を整備し、

利用者一人ひとりに合わせた、視覚的にわかりやすい活動を展開した。併せて並行利用先や学校などの外部機関、アドバイザー等と連携し情報交換を行ったことで、本人の安心に繋がるより具体的な環境整備を実施することができた。

(3) 自立（自律）活動への取組みの推進～社会参加と生活スキルへの支援

日々の日課として食器洗い、掃除を行い、個々のスキルに合わせた役割を作り、自発的に行うことができるよう取り組んだ。

週に3日程度、近隣商店へ買い物に行く機会を作り、給食の食材や消耗品の買い出しなど、利用者と一緒にいる機会を提供した。

ボールペン作業で得た工賃の使用方法について、家族やヘルパー事業所等と情報交換を行った。その中で、休日にガイドヘルパーを利用した際、自分の給料で好きな物を買うなどの体験を通して社会参加に繋げる支援を行った。

●グループホーム彩事業所・・・【共同生活援助事業】

1 概況

10月に定員39人から38人に変更し、現在は7住居に38人が入居。平均年齢が40歳を超え、うち8人は60歳以上と高齢化が進み、日中の在宅時支援、医療機関との連携、通院支援等、加齢に伴う支援のスキルアップおよび人材確保が課題となっている。一方、若年層の障がいの重度化も顕著（7人の方の障がい支援区分の変更）であり、より専門的な視点による支援が求められている。

余暇では、毎年行う入居者アンケートで最も要望が多かった一泊旅行を、事業所として初めて企画・実施した。

2 実績

(1) 入居状況

定員 38 人 / 入居者 38 人

単位：人

共同生活住居 名称	定員	入居
1 檜の木ハイツ	5	5
2 楠の木ハイツ	5	5
3 けやきハイツ	6	6
4 さくらの木ハイツ	5	5
5 寺谷ホーム1号館（ももの木ハイツ）	5	5
6 寺谷ホーム2号館（くりの木ハイツ）	6	6
7 ゆずの家	6	6
合計	38	38

(2) 入居者の概要

- ①入居者 38 人
- ②男女比 男性 25 人：女性 13 人
- ③年齢層 20～70 歳
- ④平均年齢 41.8 歳
- ⑤平均障がい支援区分 3.66 (昨年度 3.39)

(): 昨年度 単位：人

区分	1	2	3	4	5	6	合計
共同生活援助	0(1)	9(8)	8(13)	10(9)	9(5)	2(2)	38(38)

- ⑥障害別 知的障がい 35 人／身体障がい 4 人／精神障がい 5 人
- ※複数の手帳を所持されている方含む

(3) 主な日中活動先

(): 昨年度 単位：人

生活介護	地域活動 支援 C	地域 作業所	就労施設	就労	介護保険 サービス	求職中	合計
8(9)	3(5)	14(9)	4(10)	4(4)	1(0)	4(1)	38(38)

※入居者 38 人のうち 13 人(34.2%)が法人内障がい福祉サービスを利用。

3 重点計画実施状況

(1) 制度変更への準備・対応

外部研修や説明会に積極的に計画的に参加し早期の情報収集を行い、職員勉強会等を定期的に変更したことにより、円滑に制度変更に対応できた。

(2) 重度化・高齢化への対応

特に食事、入浴等の介助が必要な方や高齢の方が多住居について、夕方から就寝前までの時間帯に職員を加配し、体制を強化した。また、車両乗降研修や個別介助研修を実施し、新たに求められる支援のスキルアップを行った。福祉専門職加算の算定を目指し、1人が介護福祉士資格を取得した。

(3) 成年後見制度の利用促進

入居者本人の将来への安心、権利擁護の観点から、職員勉強会、研修会参加等を経て、本人やご家族へ制度説明を継続してきた結果、2人が制度利用を開始することとなり、制度利用者は5人となった。(昨年度3人が利用)

(4) 防火・防災対策の強化

住居毎の現地調査を行い、全体研修会で意見交換し、住居毎避難フローチャートを作成した。また、世話人を中心として「一人宿直者防火研修」に参加し意識を高めることができた。

(5) 余暇の充実

カラオケや入浴施設への外出、バーベキューやクリスマス会などを実施した。また、地域の店舗での忘年会や新年会等の開催により、近隣住民との顔の見える関係づくりに取り組んだ。利用者アンケートで多くの要望が寄せられた一泊旅行を事業所として初めて企画・実施した。

【一泊旅行概要】

- ・日 時 平成 27 年 2 月 5 日（木）～6 日（金） 一泊二日
- ・場 所 伊豆熱川温泉
- ・交 通 大型バス 1 台、大型乗用車 1 台（キャラバン）
- ・参加者 合計 44 人（利用者 29 人、職員 15 人）・・・主任看護師同行
- ・効 果 他住居利用者・職員との交流の場、あらたな旅行・外出意欲
普段見られない様子が見られた等

●ヘルパーステーション木の葉・・・【居宅介護事業／移動支援事業】

1 概況

事業の立て直しや事業拡充の検討を行うため、下半期から相談支援事業と一体化し、職員体制を新たに編成した。稼働時間の増加にはつながらなかったが、利用者一人ひとりに対するサービスの質を重視し、引き続き、相談事業や自立生活アシスタント、関係機関と積極的かつ密に協力・連携を行った。

2 実績

(1) 居宅介護（家事援助/身体介護）

() : 昨年度

	利用件数 (件)	増減	利用時間数 (時間)	増減
上半期	956 (1,031)	▲75	1,140 (1,208)	▲68.3
下半期	913 (1,005)	▲92	1,092 (1,097)	▲5.2
年間	1,869 (2,036)	▲167	2,232 (2,305)	▲73.5

(2) 移動支援

() : 昨年度

	利用件数 (件)	増減	利用時間数 (時間)	増減
上半期	850 (1,062)	▲212	2,587 (3,177)	▲590.5
下半期	1,068 (1,104)	▲36	2,833 (3,144)	▲311
年間	2,130 (2,247)	▲117	5,419 (6,321)	▲901.5

※キャンセル合計 15.5 時間／7 件

3 重点計画実施状況

【居宅介護事業】

(1) 重度化高齢化への対応

ご本人だけでなくご家族の高齢化が進み、介護力の低下が顕著なご家庭が増加している。訪問時に把握した状況を相談員やケースワーカーへこまめに報告したり、新たな居宅介護サービスを提供することで、包括的な支援につなげることが出来た。

【移動支援事業】

(1) 登録ヘルパーの対応力強化

現登録ヘルパーから稼働時間増加を希望する声はあるが、利用者の特徴や障がい特性とヘルパーの対応力との組み合わせが難しく、稼働件数を増やせない状況であった。そこで現登録ヘルパーの対応力強化を目的に利用者支援に関する研修の開催や個々の現場にサービス提供責任者が出向き、直接指導を行った。

●つるみ地域生活支援センター・・・【①横浜市障害者相談支援事業】

1 概況

区唯一の委託相談支援事業所として、子どもから大人までライフステージに即した支援が受けられるよう、個別支援と共に関係機関との連携によるネットワーク支援を行った。

また、鶴見区自立支援協議会の事務局として、鶴見区における地域課題の共有と解決にむけ、区内関係機関、団体等と共に「専門部会」を開催し、より強固なネットワークづくりを行った。

2 実績

(1) 相談者について

知的障害児者の在宅生活に悩むご本人・ご家族、関係する学校及び施設からの相談が増加した。

就学期における「不登校」、児童から成人期に共通する「行動障がいへの対応」、家族の高齢化による「短期入所事業の調整」等について、個別性を重視しながら、それぞれのご家族の生活状況に応じた相談支援を行った。

①障がい種別

() : 昨年度 単位 : 人 (実人数)

	未就学	就学	成人	計
身体	0(0)	1(1)	12(11)	13(12)
知的	0(0)	24(16)	91(72)	115(88)
発達	0(0)	0(0)	3(3)	3(3)
精神	0(0)	0(0)	6(4)	6(4)
高次脳	0(0)	0(0)	4(6)	4(6)
重心	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
合計	0(0)	25(17)	116(96)	141(113)

②新規相談

() : 昨年度 単位 : 人 (実人数)

	未就学	就学	成人	計
身体	0(0)	4(1)	9(5)	13(6)
知的	4(0)	22(20)	30(38)	56(58)
発達	2(1)	6(1)	0(1)	8(3)
精神	0(0)	0(0)	0(6)	0(6)
高次脳	0(0)	0(0)	0(1)	0(1)
重心	1(0)	0(1)	0(1)	1(2)
合計	7(1)	32(23)	39(52)	78(76)

③相談者内訳

() : 昨年度 単位 : 件数

本人・家族	本人	1330(1005)
	家族	1207(1203)
地域	友人知人	2(12)
	民生委員	0(0)
行政	障害	745(597)
	保護	17(29)
福祉施設関連	相談機関	206(167)
	施設	1203(867)
	ケアマネ	46(79)
	ヘルパー	458(440)
医療	病院	143(128)
教育	学校	241(160)
その他	その他	132(80)
合計		5730(4767)

(2) 相談方法について

平成24年10月に「幹相談室」を開設して以来、駅から徒歩2分圏内にあることや気軽に立ち寄ることができる雰囲気づくりをしたことにより、当事者、家族が気軽に来所し、相談できる窓口となった。

①相談方法別相談件数

() : 昨年度 単位 : 件数 (延)

来所	538(392)
訪問	1173(1516)
メール・FAX	312(216)
電話	3707(2588)
合計	5730(4712)

(3) 相談内容及び対応について

「生活相談」と「社会資源の相談」が増加した。
学齢期における放課後の過ごし、通学通所支援の調整、成人期における当事者と

親の高齢化による地域生活や短期入所の調整等が主たる内容であった。
福祉サービスは増えたものの、家族だけで長期間悩みを抱え込むことも多く、これまでの苦労等丁寧に聞き取り、ご本人の意向を尊重しながらサービス調整を行う等きめこまかな相談対応を行った。

①相談内容

() : 昨年度 単位 : 件数

権利擁護	0(1)
視覚障害者等情報弱者に関する	0(0)
就 労	211(197)
経済金銭	79(53)
健康医療	740(472)
家族・人間関係	476(318)
趣味余暇	106(99)
生活相談	1133(551)
社会資源	2325(1467)
自施設利用	211(109)
ピアカウンセリング	3(1)
合 計	5284(3268)

②相談対応

() : 昨年度 単位 : 件数

聴き取り	1835(977)
説明・助言・情報提供	151(294)
申請取次ぎ	26(8)
他機関等連絡・調整	2541(1177)
個別支援会議	119(106)
苦情対応	1(1)
その他	113(110)
合 計	4786 (2673)

(4) 鶴見区地域自立支援協議会の運営

平成 26 年度は地域課題の解決を目指し専門部会（権利擁護部会・生活支援部会・相談部会）の運営に注力した。特に相談部会では、平成 24 年 7 月から開始された計画相談支援の拡充に向け、区内障害福祉サービス事業所への計画相談導入や指定特定相談事業所への後方支援を行った。

開催状況	会 議		実 施	回数(25年度)
		代表者会議	5 月	1 (1)
		担当者会議	7 月・1 月・3 月	3 (4)
	専門部会	相 談	4 月・5 月・6 月・7 月・8 月・9 月・10 月・11 月・12 月・1 月・2 月・3 月	12 (12)
		権利擁護	4 月・6 月・8 月・10 月・12 月・2 月	6(6)
		地域生活支援	4 月・6 月・8 月・10 月・12 月・2 月	6(6)

(5) その他一家族、地域住民、介護保険事業者に向けた出前講座の実施等

出 前 講 座 等			
開催月	主催	対象者	内 容
平成 26 年 7 月	ゆうの風 おもちゃ文庫 幹相談支援室	凸凹ふれんず 保護者	就学期に向けた身近な不安について、座談会形式で話合う
平成 26 年 10 月	市場ケアプラザ 駒岡ケアプラザ 幹相談支援室	学齢時	第 1 回 創作活動を通じた仲間作り
平成 26 年 11 月	幹相談支援室 市場ケアプラザ	地域住民 福祉従事者	高次脳機能障害について
平成 26 年 11 月	市場ケアプラザ 駒岡ケアプラザ 幹相談支援室	学齢時	第 2 回 創作活動を通じた仲間作り
平成 26 年 12 月	グループホーム 連絡会	グループホーム 支援者	権利擁護について
平成 27 年 1 月	市場ケアプラザ 駒岡ケアプラザ 幹相談支援室	学齢時	第 3 回 創作活動を通じた仲間作り
平成 27 年 2 月	障害者 支援センター	後見的支援事業 従事者	鶴見区地域自立支援協議会について
平成 27 年 2 月	市場ケアプラザ 幹相談支援室	市場・矢向地区 介護支援専門員	障害者総合支援法を学ぶ

3 重点計画実施状況

(1) 障害者総合支援法による計画相談事業の拡充

法人内サービス事業所をモデルとして計画相談を導入し、サービス等利用計画の作成を開始した。

また、区内相談事業所の対応力強化と事業所同士の連携の強化に向け、計画作成の開始～終了に至るまでの各プロセスに関する課題の抽出を行った。

(2) 子育てに関する相談への対応強化

①子育て相談を受ける中で、学齢期に向けて悩みを抱えている母親の声が多く聞かれたため、「横浜凸凹ふれんず」の勉強会にピアサポーターが参加。「学齢期に向けての悩み」を語り合う座談会を開催。また、ピアサポートの視点が必要な個別の相談については、ピアサポーターによる相談の場を設けた。

②平成26年度は学齢相談が増加している。学齢期に子育てをする中での漠然とした成長への不安や、様々な体験をする中での成長への期待など、親御さんの想いをニーズとして吸い上げる必要性を感じた。これらの声を吸い上げる方法としてアートプロジェクトを開催し、母親のニーズ把握に努めた。

③行動障がいがあり家での過ごしが難しい方や家族が就労している方の場合、放課後等デイサービスの利用ニーズが高い傾向にある。一方で、本人の成長に視点を向けると、学齢期放課後等デイサービスを利用するだけでなく親子の関係や関わりの部分に対する支援アプローチについても検討が必要と思われる。この部分の検討をするために、障がい児支援に関わる支援者での連絡会を開催した。

(3) 自立支援協議会の専門部会の活性化

「権利擁護部会」「生活支援部会」「相談部会」の3部会に職員を派遣。特に「相談部会」においては、国の施策としても喫緊の課題である計画相談拡充に向けた検討を実施。区内障害福祉サービス事業所に計画相談を導入し、計画相談の開始に向けた準備を行った。

(4) 後見的支援推進事業との連携

計画相談支援の開始により、横浜市では新たな相談支援体制の見直しを進めている。幹相談支援室では区内で唯一の事業である障害者相談支援事業、後見的支援事業を受託しており、相談支援体制の中心を担っている。この体制の中で将来への不安を少しでも軽減し、緊急時に相談支援が即時支介入できるよう両事業に関わる方の情報共有と対応の検討を行った。

【②知的障がい者自立生活アシスタント事業】

1 概況

障がいがある方が地域の協力を得ながら、本人らしく自立した生活ができることを目指し、相談・助言・情報提供・コミュニケーション支援等を行った。主に知的障がいのある単身者、または一緒に暮らしているご家族の高齢化・病気・障

がいなどで、日常生活の支援を受けることが難しい障がいのある方を対象とし、支援を行った。

2 実績

(1) 登録者状況

() : 昨年度 単位 : 人

登録者数	新規	終了	終了事由
30(30)	4(6)	4(4)	生活の安定による終了 2(0) グループホームへの移行 0(2) 家族との同居 1(0) 他区アシスタントへの移行 1(1)

(2) 新規登録者内訳

() : 昨年度 単位 : 人

性別		住居		障害		年代		日中		支援頻度	
男	2(4)	単身	2(4)	A 1	0(0)	20～	1(0)	在宅	1(3)	週1回以上	1(3)
女	2(2)	家族	2(2)	A 2	0(0)	30～	1(4)	就労	3(3)	1回/2週以上	2(3)
		世帯	0(0)	B 1	1(1)	40～	2(2)	施設	0(0)	1回/月以上	1(0)
				B 2	3(4)	50～	0(0)			必要時	0(0)
				なし	0(1)	60～	0(0)				
計	4(6)	計	4(6)	計	4(6)	計	4(6)	計	4(6)	計	4(6)

(3) 登録者内訳

() : 昨年度 単位 : 人

性別		住居		障害		年代		登録年数		日中		支援頻度	
男	17 (18)	単身	18(17)	A1	0(0)	20	3(3)	5年 以上	11 (13)	在宅	6 (11)	週1回 以上	8(6)
女	17 (16)	家族	6(3)	A2	5(5)	30	10(11)	3年 以上	13(3)	就労	11 (7)	半月に 1回以上	20 (22)
		世帯	10(12)	B1	13 (15)	40	12(8)	1年 以上	6(12)	施設	17 (16)	1ヶ月に 1回以上	3(6)
		他	0(2)	B2	14(12)	50	5(9)	1年 未満	4(6)			必要時	3(0)
				なし	2(2)	60 ～	4(3)						
計	34 (34)	計	34 (34)	計	34 (34)	計	34 (34)	計	34 (34)	計	34 (34)	計	34 (34)

(4) 支援方法

() : 昨年度 単位 : 件

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
来所	22	30	14	27	20	15	20	14	17	18	24	28	249 (196)
電話	177	204	174	227	178	194	177	121	168	173	179	207	2,179 (2,062)
訪問	42	34	54	40	32	40	38	31	37	46	36	57	487 (515)
同行	54	36	67	62	49	59	59	41	49	37	60	44	617 (587)
合計	295	304	309	356	279	308	294	207	271	274	299	336	3,532 (3,360)

(5) 支援内容

() : 昨年度 単位 : 件

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
心理情緒	81	79	81	86	54	71	61	37	53	59	68	90	820(615)
医療健康	80	70	71	100	53	79	68	47	55	40	54	74	791(834)
消費生活	79	77	83	76	72	64	68	47	70	58	59	61	814(823)
就労	50	49	45	43	34	24	16	18	30	35	24	30	398(555)
衣食住	90	83	72	78	52	66	74	59	64	77	80	96	891(885)
対人	2	5	3	3	3	5	2	3	7	4	0	5	42(39)
制度	18	26	24	23	21	15	17	18	18	27	15	32	254(172)
所属施設利用	2	4	4	9	5	9	5	7	9	3	3	6	66(18)
機関連携	105	99	87	87	71	104	90	47	84	110	90	121	1,095 (1,128)
余暇支援	13	10	14	10	20	3	15	14	5	2	2	3	111(136)
合計	520	502	484	515	385	440	416	297	395	415	395	518	5,282 (5,207)

3 重点計画実施状況

(1) 当事者同士の仲間作り

年4回「金銭管理勉強会」「後見的支援推進事業勉強会」「料理教室」「温泉余暇」を、アシスタント登録者に周知し実施した。

企画を通して、地域生活で活用できる情報の共有や、仲間づくりの場として、参加者同士で話し合う時間ができた。

(2) 単身生活者等の地域生活支援の充実

①ネットワークづくりの推進～計画相談及び後見的支援推進事業との連携

2人の登録者に計画相談を導入したことで、サービス調整が円滑になり、その分アシスタントとして、時間をかけて本人と向き合い、気持ちを汲み取る役割に徹することができた。

後見的支援推進事業りんくるつるみとの連携では、アシスタント登録者向けの制度説明会の実施をし、2人の登録者の方がりんくるつるみに登録となった。相互の登録をすることで、本人たちの安心感や、支援者間で情報共有することでの課題解決にもつながった。

②支援力の向上

4カ所の他区アシスタント事業所と自主勉強会を行った。お互いのアシスタントの動きや、支援方法、情報交換、事例検討等を行うことで、新しい情報が得られ、自分たちの支援内容を、振り返る良い機会となった。

●障がい者後見的支援室「りんくるつるみ」【横浜市障害者後見的支援推進事業】

1 概況

第二期横浜市障害者プラン『将来にわたるあんしん施策』として、当事者、家族の声により制度化された当事業の運営法人として平成25年2月に横浜市より受託。事業を開始し、2年が経過し、登録者は54名となった。

18歳以上の障がいがある本人と家族が住みなれた地域で安心して暮らすことができるよう、地域住民等の協力による見守りネットワークの構築や生涯に渡る支援者との関係性を見据えた定期的訪問の実施、横浜市社会福祉協議会障害者支援センター（推進法人）との支援チームの形成等の充実を図った。

2 実績

(1) 登録者状況

登録者数平成27年3月31日時点

(): 昨年度 単位: 人

登録者数	内新規	終了	終了事由
54 (35)	19 (35)	0 (0)	—

(2) 登録者内訳

①性別 男性34人（昨年度21人）、女性20人（昨年度14人）

②年齢層

(): 昨年度 単位: 人

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上
3(2)	29(20)	9(6)	7(4)	5(3)	1(0)

③その他

(): 昨年度 単位: 人

障がい		世帯		所属		主たる介護者	
知的	50(33)	単身	3(2)	一般就労	15(10)	40～	6(4)
内重複	5(5)	母子	19(11)	福祉就労	33(22)	50～	22(15)

身体	2 (2)	父子	3 (2)	在宅	3 (3)	60～	9 (7)
精神	0 (0)	GH入居	1 (1)	その他	3 (0)	70～	10 (3)
重心	2 (2)	その他	28 (19)			80～	4 (3)
						単身者等	3 (3)

10～20代の登録者が6割を占めた。一方で、主たる介護者が70～80代の14世帯のうち10世帯は、父もしくは母と本人の2人暮らしという現状。

(3) 支援方法

(): 昨年度 単位: 件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問	17	16	18	19	17	15	18	15	19	15	20	23	212 (189)
来所	10	16	15	15	14	13	13	12	9	20	11	11	159 (47)
合計	27 (4)	32 (14)	33 (10)	34 (17)	31 (17)	28 (18)	31 (22)	27 (28)	28 (22)	35 (26)	31 (34)	34 (24)	371 (236)

(4) 制度周知活動

(): 昨年度 単位: 件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
当事者/ 家族	1	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	1	6<5>※1 (10<17>)
地域	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1<0>※2 (15<17>)
支援者	3	0	2	2	1	0	2	0	2	0	0	0	12<1>※2 (60<3>)
合計	4 (12)	1 (10)	2 (9)	3 (9)	1 (2)	0 (10)	2 (8)	2 (2)	3 (1)	0 (8)	0 (11)	1 (3)	19 (85)

※1< >内は制度説明を受けて登録に繋がった人数

※2< >内は制度説明を受けてキーパーに繋がった人数

(5) あんしんキーパー状況

(): 昨年度 単位: 人

地域あんしんキーパー	支援者あんしんキーパー
22 (20)	6 (4)

3 重点計画実施状況

(1) 制度・事業の周知

当事者、家族に向けた制度の周知/広報等を重点的に行った。特にこの制度を真に必要なとする本人及び高齢期にかかる家族の掘り起こし・支援の充実に向けて、区、地域ケアプラザ等と連携を図った。

今後の課題として、各支援機関がそれぞれの役割を最大限活用し、地域における見守り体制（地域コミュニティ）を構築していくという、地域の“つなぎ役”を目指し、地域における障がい福祉の浸透・啓発等に力を入れていきたい。

(2) 人材確保・育成

コミュニケーション・面談技術等の研修を通して、登録者やご家族との豊かな人間関係を築いていくために必要な「関わりの姿勢・技法」について学びを深めた。

また、登録者やご家族からの権利擁護への不安の声から、成年後見制度の研修に定期的に参加した。今後は、成年後見人と福祉関係者（機関）等とのネットワークが構築され、双方が連携を取り合いながら、お互いの役割を果たせるよう、機会を設定していきたい。

（3）事業間・機関連携

昨年に引き続き、鶴見区地域自立支援協議会・権利擁護部会に所属。特に権利擁護部会では、権利侵害について地域の支援者と課題を共有することができた。

●つるみ地域活動ホーム幹

【①日中活動支援（生活介護事業／地域活動支援センター事業デイサービス型）】

1 概況

（1）生活介護事業

障がい支援区分3以上（50歳以上の方は2）の利用者に対し、一人ひとりの障がい特性、年齢、健康状態等に合わせたサービスを提供した。

4月に3人の養護学校高等部卒業生の受け入れを実施した。年度を通じて3人の他のサービスの利用が困難となっている方や、長期間に渡る在宅生活を送っている当事者の受け入れを実施し、地域における拠点施設としての役割に努めた。

（2）地域活動支援センター事業（デイサービス型）

4月より主に障がい支援区分1～2の利用者に対し、一人ひとりの障がい特性、年齢、健康状態等に合わせた主にパン製造、販売を中心とした活動を提供した。

2 実績

（1）利用状況

①生活介護事業

定員40人。平均利用者数は40.2人（25年度36.1人）

（ ）：昨年度 単位：人

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
日数	22(22)	20(21)	21(20)	23(23)	18(19)	22(20)
契約者数	76(63)	76(63)	70(63)	71(63)	71(62)	70(62)
延人数	1012(817)	853(787)	887(751)	967(862)	732(655)	857(708)
入浴数	46(48)	41(47)	52(51)	64(62)	46(45)	49(51)
送迎数	1,225 (1,066)	1,000 (1,058)	1,022 (977)	1,190 (1,123)	945 (853)	1,114 (902)
平均人数	46(37)	43(38)	42(38)	42(38)	41(35)	39(35)

（ ）：昨年度 単位：人

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
日数	22(23)	20(21)	20(20)	20(20)	20(19)	21(20)	249(248)
契約者数	70(62)	69(62)	69(61)	70(62)	70(63)	70(62)	-
延人数	852(785)	759(738)	798(680)	716(734)	759(696)	830(736)	10,022(8,949)
入浴数	57(50)	44(40)	52(36)	43(44)	43(50)	58(43)	595(567)
送迎数	1,034 (1,007)	953 (960)	1,026 (915)	905 (977)	963 (922)	1,042 (979)	12,419 (11,739)
平均人数	39(34)	38(35)	40(34)	36(37)	38(37)	40(37)	40.2(36.1)

②地域活動支援センター事業デイサービス型

定員 10 人。平均利用人数は 2.3 人（25 年度 8.6 人）

（ ）：昨年度 単位：人

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月
日数	22(22)	20(21)	21(20)	23(23)	18(19)	22(20)
契約者数	5(17)	5(17)	5(16)	5(16)	5(16)	5(16)
延人数	51(193)	48(189)	54(182)	52(201)	44(171)	51(175)
入浴数	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
送迎数	58(199)	48(206)	56(186)	54(197)	48(185)	56(180)
平均人数	2(9)	2(9)	3(9)	2(9)	2(9)	2(9)

（ ）：昨年度 単位：人

区 分	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間計
日数	22(23)	20(21)	20(20)	20(20)	20(19)	21(20)	249(248)
契約者数	5(16)	5(16)	5(16)	5(16)	5(16)	5(16)	-
延人数	53(196)	45(173)	46(176)	43(155)	45(163)	50(158)	582(2,132)
入浴数	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)
送迎数	54(211)	50(178)	49(188)	44(159)	50(178)	52(170)	619(2,237)
平均人数	2(9)	2(8)	2(9)	2(8)	2(9)	2(8)	2.3(8.6)

(2) 主な活動内容（4つのグループによる活動の実施）

①ミント

利用者の重度高齢化を踏まえ、個々の体調に合わせた活動を提供することで、安定した通所につながるよう努めた。

4月に養護学校高等部卒業生2人の受け入れを実施。個別特性に応じて安心して過ごせる環境を整備した。

新たな活動プログラムとして、紙すきで作成した紙を使用した「ランプシェード作り」に取り組み、完成した製品を夏祭りなどの地域交流事業の際に使用した。また、1日外出やランチ外食を通じて社会参加の機会を提供した。

②クローバー

自閉的傾向をもつ利用者が多いというグループ特性に伴い、個々の利用者が

見通しを立てやすい作業プログラムを軸とした支援に努めた。

4月に養護学校高等部卒業生1人の受け入れを実施。また、年度途中には2人の新規利用者の受け入れを実施。入浴サービスの提供を中心とした地域課題の軽減を図った。

ボールペンなどの受注作業を定期的に提供し、作業工賃の還元としての1日外出や外食機会を実施することで個々の利用者の意欲の向上や社会参加を図った。

<ミント・クローバーの具体的な活動内容>

創作：書道、貼り絵、エコバック制作、ランプシェード制作

余暇：カラオケ、DVD鑑賞、お茶会

運動：散歩、ボウリング、ボッチャ、体操、平行棒歩行訓練

作業：ぱど・福祉つるみ配布、畑作業（野菜、ミントづくり）、紙すき、缶つぶし、キムチ袋折り・キムチパックシール貼り作業、ボールペン作業、犬用クッキー作り

外出：1日外出、外食、公共交通機関の利用

③ドナルド

重度重複障がいをもつ利用者のグループのため、個々の体調に合わせた活動内容を提供することで無理なく安心して過ごせるよう支援した。

新たに2人の非常勤看護師を雇用し、利用者の個別特性を共有することで日々の健康管理体制を強化した。また、調理や創作などの活動の他、社会参加の機会として「デザート外出」「ディズニー外出」について、看護師同行のもと安全に配慮しながら実施した。

<具体的な活動内容>

ストレッチ、散歩、コラージュ制作、エステ、カフェ、アロマ、読書

④パン工房

年度途中に1名の新規利用者（生活介護）を受け入れ、パンの製造・販売を通して、やりがいや目標をもって活動できるよう支援した。

<具体的な活動内容>

作業：パンの製造・販売・仕込み、喫茶幹、買い物

運動：体操、散歩

創作：季節を感じる飾りつけ

外出：工場見学、ランチ外出、デザート外出

3 日中活動の重点計画実施状況

(1) 重度高齢化を迎え、医療的ケアを必要とする利用者の支援の強化

「看護職の増員」「高齢化/重度化に伴う介護研修（食事介助/当事者体験）」「運転

職員の増員による車両送迎の充実」を実施した。

(2) 重度障がいがある養護学校等卒業生の積極的な受け入れ

4月から養護学校等高等部卒業生3名の受け入れを実施し、安心して通所することができるよう、個別特性に応じた過ごし方への配慮や環境作りに取り組んだ。

(3) 他施設(事業所)との連携によるステップアップ支援の推進

昨年度より検討を進めていた「江ヶ崎生活介護事業所」の開所に伴い6名の方の個別のニーズに基づく移行を実施した。その後も、連携を図りながら一人ひとりのニーズや特性に合わせた実習を通じて、2人の方の移行を実施し、法人型地域活動ホームの「通過型」としての機能の強化に努めた。

(4) 地域活動支援センターの活動プログラムの拡充検討

4月より11人の利用者が生活介護事業所へ移行し、当事業所への登録者は5人からのスタートとなった。

軽度知的、発達障がい者の活動プログラム充実の検討を行い、実習受け入れも行ったが、パン製造等を中心とした活動に適応できない当事者もおり、登録に結びつけることができなかった。

【②タイムケア・ショートステイ事業】

1 概況

本人・家族が安心して過ごせる場となるよう、受入れ体制を維持した。特に緊急時(ご家族の入院、通院、冠婚葬祭等)の希望は必ず受けることに重点を置き、計画的なショートステイの利用についても受入れ体制の維持に努めた。

2 実績

(1) 登録者数

登録者数は570人(25年度537人)

*新規登録者は51人(25年度50人)

(2) 利用者数

《タイムケア》 (): 昨年度

	26年度	増減
利用数(人)	2292(2516)	224人減

*緊急利用: 148件(88)

《ショートステイ》 (): 昨年度

	26年度	増減
利用数(泊)	726(703)	23泊増

*緊急利用: 38件(29)

3 重点計画実施状況

(1) タイムケア事業の推進（年間 9,000 時間の受入れ）

8,453 時間／年と前年度を下回った。区内に放課後等デイサービス事業所が増えたことに伴い学齡児の利用が減ったことが要因であった。

(2) ショートステイ事業の推進（年間 670 泊の受入れ）

726 泊と過去最高の受入れとなった。主たる介護者の入院等緊急利用の受入数も増加しており、今後ますますニーズが増えると思われ、体制強化が喫緊の課題となった。

(3) 緊急時の受け入れ強化

常勤職員 1 人・非常勤職員 1 人を増員し、非常勤職員を交えたグループ会議を毎月実施することで、利用者個別の支援等について情報共有ができ、一時ケア・ショートステイ共に受け入れ体制を強化することができた。

(4) 登録更新手続きの簡素化

毎年更新している状況表（アセスメントシート）をデータ化することで、登録更新手続きが簡素化できるかを検討したが、セキュリティーの問題を慎重に捉え実施に至らず。

【③おもちゃ文庫事業／余暇活動支援事業／地域交流事業】

1 実績

(1) おもちゃ文庫事業

《利用者数》 () : 昨年度 単位：人

利用者数	3,725(4243)	518 減
子ども(障)	187(226)	39 減
保護者(障)	181(198)	17 減
子ども	1836(2,115)	279 減
保護者	1521(1,704)	183 減

《子育て相談》 () : 昨年度 単位：件

対人関係・社会性・家族関係	8(12)	4 減
自己主張・反抗	7(9)	2 減
発育・食事・生活リズム	5(9)	4 減
分離不安・情緒不安	9(7)	2 増
幼稚園選択・園(学校)生活	29(22)	7 増
発達の不安・障害関係	51(56)	5 減
親自身の相談	15(14)	1 増
その他	2(6)	4 減
合計	126 (135)	9 減

《子育て支援を主とした講座/プログラム》

日程	プログラム名	内容	参加人数
6月7日 (土)	FUNFUN どんぐり	親子ヨガ、母一ヨガ 子ども一工作(傘袋ロケット)	障がい児 6人 親 6人
6月21日 (土)	ST相談	横浜療育医療センター ST上野氏	障がい児 6人 親 6人 兄弟児 3人
7月13日 (日)	くるみカフェ	ST/OT勉強会 小学生保護者対象	親 14人 託児 10人
10月25日 (土)	くるみカフェ	ST/OT勉強会 未就学児保護者対象	親 14人 託児 10人
11月22日 (土)	FUNFUN どんぐり	親子ヨガ、母一ヨガ 子ども一工作(大きい紙相撲)	障がい児 9人 親 9人
11月29日 (土)	ST相談	横浜療育医療センター ST上野氏	障がい児 5人 親 5人 兄弟児 1人
1月17日 (土)	くるみカフェ	小学生の保護者座談会 ゆうの風 長谷山氏、石川氏	親 6人 託児 4人
2月22日 (日)	くるみの木 講演会	「発達障がいのある子の いいところ応援計画」 星槎大学准教授 阿部氏	一般 44人 職員 29人

(2) 余暇活動支援事業

年間36回(25年度と同数)開催し、述べ152人(25年度162人)の参加があった。事業は対象者別に4グループでそれぞれ実施した。

実施内容	対象者	回数	参加人数
つるみくす	成人	12	63人
まつぼっくり	小～高校生	12	44人
まつぼっくりプチ	未就学児	4	17人
パン教室	小学生～成人	8	28人

(3) 地域交流事業

《イベント等の活動》

イベント・活動名	開催日	参加者(人)	内 容
みきっずまつり	5月10日(土)	335人	歌と演奏、チアダンス、子どもボランティア縁日
幹夏祭り	8月2日(土)	約600人	ハワイアンダンス、模擬店
クリスマスコンサート	12月13日(土)	153人	歌と演奏、サンタボランティア

【④運営委員会】

つるみ地域活動ホーム幹の運営委員会は、予定通り3回開催した。

[第1回運営委員会] 通算42回

日 時	平成26年6月5日(木曜日) 午前10時00分～11時30分		
場 所	つるみ地域活動ホーム 幹 地域交流室		
出席者	委員	13人(定数17人)	
おもな議事等	① 平成25年度つるみ地域活動ホーム幹の事業報告 ② 平成25年度決算報告・監事監査報告について ③ その他報告(夏祭り、法人型地域活動ホーム課題検討会について)		

[第2回運営委員会] 通算43回

日 時	平成26年12月11日(木曜日) 午前10時00分～11時30分		
場 所	つるみ地域活動ホーム 幹 地域交流室		
出席者	委員	13人(定数17人)	
おもな議事等	① 平成26年度上半期事業報告 ② その他報告(新規卒業生受け入れ、在宅障がい者への対応について)		

[第3回運営委員会] 通算44回

日 時	平成27年3月24日(木曜日) 午前10時00分～11時30分		
場 所	つるみ地域活動ホーム 幹 地域交流室		
出席者	委員	13人(定数17人)	
おもな議事等	① 役員改選 ② 平成27年度事業計画及び予算について ③ その他報告(区自主事業、27年度職員体制について)		

●あそびのひろばこかげ・・・【①児童発達支援事業】

1 概況

障がいのある、もしくはあると思われる未就学児を対象に、個別及び集団プログラム活動（公園遊び、制作活動など）を行った。

2 実績

定員 10 人。平均利用人数は 5.77 人／日。（出席率 78.2%）

年間述べ利用者数は 1,374 人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
26年度上半期 利用状況	活動日数	20日	20日	21日	22日	18日	20日
	登録者数（人）	13人	12人	17人	23人	23人	23人
	利用者 延べ数（人）	64人	78人	103人	133人	125人	121人
	一日の平均利用者数（人）	3.20人	3.90人	4.90人	6.05人	6.94人	6.05人
		10月	11月	12月	1月	2月	3月
26年度下半期 利用状況	活動日数	21日	18日	19日	19日	19日	21日
	登録者数（人）	23人	23人	24人	24人	24人	24人
	利用者 延べ数（人）	116人	108人	122人	128人	130人	146人
	一日の平均利用者数（人）	5.52人	6.00人	6.42人	6.74人	6.84人	6.95人

3 重点計画実施状況

（1）集団プログラムの見直し～調理プログラムの実施

調理プログラムを平日に取り入れ、児童が調理に参加出来る機会を増やした。楽しく活動参加する中で、自宅では食べない料理を食べることが出来たこどもなど、新しい経験を増やすことにつながった。調理の週だけ利用日数増加を希望する方もいるなど保護者にも好評で、自宅でも料理の手伝いに興味を持つようになったという意見があり、成長を実感することができると喜びの声が増えた。

（2）毎月ケース会議の実施

ケース会議を月 1 回実施することで、個別課題を見直し子どもの発達に適した支援の強化を図った。

（3）通園開始前児童の保護者に対する、不安や悩みへの共感・情報提供

送り迎えの時間や連絡帳、電話連絡等を活用し、出来る限り保護者の不安や悩みを聞き、「寄り添う支援」を心掛けた。また、必要に応じて、相談支援事業や区役所のケースワーカー、保健師など、内外の関係機関につなぎ支援にあたった。

【②放課後等デイサービス事業】

1 概況

障がいのある、もしくはあると思われる児童（小 1 から高 3）を対象に個別及び集団プログラム活動（買い物学習、調理など）を行った。

2 実績

定員 10 人（こかげ・わたげとも）

平均利用人数 こかげ 6.77 人／日（出席率 80.8%）

わたげ 7.08 人／日（出席率 81.1%）

年間延べ利用者数 こかげ 1,942 人

わたげ 2,038 人

放課後等デイサービス(こかげ) 【小学生】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
26年度上半期 利用状況	活動日	24日	24日	25日	26日	22日	24日
	登録者数	43人	43人	43人	43人	43人	43人
	利用者延べ数	157人	183人	183人	196人	136人	171人
	送迎利用者	68人	106人	115人	74人	0人	95人
	一日の平均利用者数	6.54人	7.63人	7.32人	7.54人	6.18人	7.13人
		10月	11月	12月	1月	2月	3月
26年度下半期 利用状況	活動日	26日	24日	23日	23日	23日	24日
	登録者数	40人	40人	40人	39人	39人	38人
	利用者延べ数	166人	155人	146人	152人	146人	151人
	送迎利用者	92人	90人	71人	71人	93人	68人
	一日の平均利用者数	6.38人	6.46人	6.35人	6.61人	6.35人	6.29人

放課後等デイサービス(わたげ) 【中高生】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月
26年度上半期 利用状況	活動日	24日	24日	25日	26日	22日	24日
	登録者数	37人	37人	37人	37人	37人	37人
	利用者延べ数	177人	185人	189人	173人	150人	174人
	送迎利用者	73人	101人	108人	55人	0人	93人
	一日の平均利用者数	7.38人	7.71人	7.56人	6.65人	6.82人	7.25人
		10月	11月	12月	1月	2月	3月
26年度下半期 利用状況	活動日	26日	24日	23日	23日	23日	24日
	登録者数	36人	36人	36人	36人	36人	36人
	利用者延べ数	182人	170人	157人	148人	158人	175人
	送迎利用者	97人	86人	69人	67人	90人	67人
	一日の平均利用者数	7.00人	7.08人	6.83人	6.43人	6.87人	7.29人

3 重点計画実施状況

(1) 他事業所との連携～かかわり、対応の共有

区内外に「放課後等デイサービス事業」が多数開所されことに伴い、当事業所との併用者が増えた（こかげ利用者 38 人中 29 人、わたげ利用者 36 人中 12 人が他事業所と併用）。特に重い障がいがある児童の不安と混乱の軽減を目的に対処の共有等を中心に他事業所と随時情報交換を行った。

(2) 相談支援事業との連携～トータルな子育て支援の実施

11 人の利用者に対して、つるみ地域生活支援センターの相談員と連携しながら本人及びご家族への支援を行った。必要に応じて利用日数の増加も行った。

(3) 養護学校・個別支援級への車両送迎の拡大などお迎えの強化

幹やゆうづるとの連携のもと、13台／週だった学校お迎え車両の数を15台／週へ増やした。また、わたげ利用者で鶴見駅まで一人でバスに乗って来る利用者に対し、バス停までのお迎えを行った。

(4) 養護学校等短縮日課時・長期休暇時の利用時間の拡大

利用の拡大、保護者負担の軽減のために、学校の短縮日課に合わせた送迎体制の構築及び利用時間の拡大（午後3時開始→2時開始）を行った。また、長期休み中及び午前日課の際、わたげでは、希望者に対して12時から昼食持参での受け入れを行った。

●鶴見市場地域ケアプラザ“ゆうづる”

【①地域活動交流事業】

1 概況

支え合う地域づくりを目指し、高齢者支援・子育て支援・障がい者支援を中心に多角的に事業を実施した。

また、地域包括支援センターと連携して出張事業の実施や、地域行事などへの参加からアウトリーチを行い、地域ニーズに対応した事業実施、地域力の発掘を行った。

2 実績

※参照資料・・・「資料3」

3 重点計画実施状況

(1) 自主事業の実施（特に、障がい児・者理解の促進、事業の充実）

①高齢者支援

地域包括支援センターと連携し、ゆうづるから遠い地域にお住まいの方へのアプローチとして出張事業を実施した。継続して参加できる事業を通して継続的な顔の見える関係づくりを行った。

コミュニティハウスや通所介護事業所と連携して「歌声喫茶」「おでかけコンサート」を開催し、居場所づくりを行った。また、「写真セミナー」などのカルチャー教室では、ボランティアの力を地域に生かし、世代間交流が生まれる事業を展開する事ができた。コミュニティハウスと協力して、地域ケアプラザの周知や地域保健福祉情報の発信を行った。

②子育て支援

市場エリアの子育て世帯数の急増に対応するため、自治会・町内会、行政、社会福祉協議会、保育園・幼稚園、地域活動団体と協働して、子育て支援事業を実施した。ネットワークを活用して区域で取り組んだ「保育ボランティア育成&スキルアップ講座」では、活動者同士の交流を通して、活動意欲の向上につながった。

また、ゆうづるの子育て支援事業で中心的な活動をしている子育て中の母親

によるグループ「コメット」の活動では、担い手の世代交代の課題に取り組み、継続的な活動の支援を行った。コメットと共催で開催する出張カフェは3町内会、年18回の実施を行い、町内会との連携を深めることができた。

保育ボランティアやコメットなど、子育て支援事業をボランティアと協働で取り組むことで世代間交流や気軽に悩み相談を共有する場となり、仲間作りにつながるなどの多くの成果を得ることができた。

③障がい者支援

昨年に引き続き、自主事業などで障がい者施設の手づくり製品販売の場を提供した。月1回開催している子育て支援事業「カフェコメット」では、親子と障がいのある方が顔なじみになり、声を掛け合う姿が見られ、自然に交流できる機会となっている。26年度は、出張カフェでの製品販売も開始し、一緒にレクリエーションをするなどの交流も生まれた。「のど自慢大会（年3回）」では、地域老人会と障がい者施設利用者が音楽を通して交流し、地域社会参加の場となっている。

障がい児余暇支援事業「サマーフレンド」では、地域活動ホーム幹でスタッフの実習を行い、近隣の地域活動支援センターや保育園、地域ボランティアと協働でプログラムを実施。当事者とご家族が地域とのつながりを持てるよう支援を行った。

また26年度は新たに「ポッチャ交流会」を実施した。鶴見総合高校の福祉科授業の一環として実施し、近隣の障がい者施設、自主事業参加者の協力でゆうづるロビー来館者（小学生・高齢者）を巻き込んだ自然な交流が生まれた。

(2) ボランティアの発掘、育成、支援

①ボランティア発掘・育成

鶴見区ボランティアセンターや、自治会・町内会会議等で定期的にボランティア活動PRを行った。また、既にボランティア活動をされている方の発表の場発掘に努めた。併せて新しく企業ボランティアの受け入れにも取り組んだ。

コミュニティハウスとの共催事業では、アンケートを実施してボランティアの発掘を行い、新規事業の実施につながった。「子どもの可愛い写真の撮り方&アレンジ」等。

また、地域の学校（小・中・高）と連携し、「オール市場ゆうづる夏祭り」等福祉教育の推進、身近なボランティア参加の機会を提供して活動を支援した。

②ボランティア支援

活動後の会議や活動報告書を通して、日々の活動についての相談支援を行った。また、デイサービスのボランティア担当者やサブ地域コーディネーターと定期的に情報交換を行い、ボランティア活動の発展につなげた。

ボランティア連絡会・感謝祭の実施やボランティア団体・地域組織との定期的な会合では、ボランティア活動における課題抽出と解決、ボランティア同士の情報共有を行った。

(3) 異文化交流として外国人が関わる自主事業の展開

横浜市国際学生会館との協働で、「国際クッキング交流」を実施。地域ボランティア、韓国の留学生、地域住民でお互いの国の料理を教え合い、文化を学び合う時間となり、異文化交流の良い機会となった。

(4) 地域にこまめに出向き情報の収集と提供を図る

地域で行われる活動に出席し、ニーズの把握に努めるとともに、顔の見える関係作りを行った。合わせて個別ケースの把握も行い、地域包括支援センターと協力し自主事業などで早期に見守りできる対応を行った。

自治会・町内会単位での関係づくりから、新しいネットワークが生まれ、新たな社会資源づくり、地域活動の活発化につながった。

(5) 地域包括支援センターとの4職種連携による課題・ニーズの把握

4職種地域会議を毎月開催し、地域交流と地域包括支援センターがそれぞれ抱える案件や課題共有を行った。地域活動交流事業の「麻雀サロン」「カルチャー教室」にて地域包括支援センターの周知を行い、要支援者の把握・相談体制を強化した。26年度は、双方のネットワークやスキルを生かして「男の料理教室」を開催。男性高齢者の孤立防止、ボランティア育成に取り組んだ。昨年度に引き続き地域ケア会議開催を通し、各部門の特性を生かした地域支援体制について検討することができた。また、中学生福祉教育講座を実施した。

4 その他

(1) 災害への備え

特別避難場所開設準備訓練を実施。部屋の仕切り・情報の収集・備蓄チェック等のシミュレーションを行い、サブ地域コーディネーターを含む職員全員で振り返り・備蓄の不備や改善点の確認をした。また、防災に関する自主点検項目表にて定期的な施設点検を行った。

(2) 鶴見・あいねっと（鶴見区地域福祉保健計画）の推進

毎月の担当者会議を通し、鶴見区役所・鶴見区社会福祉協議会と連携し、定期的に地域組織・ボランティア団体との会合をもち、福祉保健に関する課題を、地域で暮らす生活者の視点から捉え、地域の繋がりの中での解決を目指すよう取り組んだ。

【②地域包括支援センター事業】

1 概況

認知症や一人暮らし高齢者が増えてきて、地域住民からの相談も同様の問題を反映したものとなっている。総合相談機関としての役割りが多岐にわたり、高齢・障害・医療といった関係機関との連携が欠かせない。多職種・多機関との連携強化と同時に、認知症などの啓発事業や認知症予防・介護予防への取り組みが求められている。

地域ケア会議等を活用して地域課題を話し合い、地域住民と関係機関の連携構築にも力を入れている。家族やサービス事業所だけでは対応しきれない場面が多くなっていて、地域包括支援センターが中心となり、地域全体の問題として考えていく体制作りを行なっている。『川のまちエリア会議』もその一つで、矢向・市場地区の医療と介護が、住みやすい地域づくりに向けた取り組みを地域に発信し始めた。

今後も地域の総合相談窓口として、地域交流を含めた4職種の連携を取りながら、各種関係機関との協力関係を強化する努力を続けていく。

認知症理解のための啓発として、町内会や老人会、『ほがらか教室』、『つるかめサロン』『健康いきいき講座』等の介護予防事業を活用して『認知症講座』を開催した。『認知症サポーター養成講座』では城南信用金庫やJR鶴見駅など民間企業からも依頼を受け、他の地域包括支援センターと協働で開催した。

鶴見総合高校では『認知症講座』を行ない、市場中学校では『福祉体験講座』として車いす体験と高齢者疑似体験を行なった。

ケアマネジャー連絡会では、スキルアップの講座のほか次年度の介護保険制度改正に向けた情報提供を行なってきた。

民生委員とケアマネジャーの交流会では、地域との連携を深めるための話し合いになった。

2 実績

<相談件数>

(): 昨年度 単位: 件

4月		5月		6月		7月		8月		9月		小計	
73	(100)	72	(62)	112	(101)	101	(104)	78	(78)	68	(71)	504	(516)
10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
71	(113)	87	(89)	81	(69)	85	(80)	75	(91)	83	(79)	986	1037

<訪問件数>

(): 昨年度 単位: 件

4月		5月		6月		7月		8月		9月		小計	
25	(19)	18	(28)	34	(25)	32	(35)	26	(32)	23	(14)	158	(153)
10月		11月		12月		1月		2月		3月		合計	
15	(23)	18	(19)	27	(16)	23	(26)	15	(22)	26	(27)	282	(286)

介護予防ケアマネジメント（実績）

単位：件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	小計
平成25年度	117(78)	119(100)	115(97)	121(102)	126(105)	129(109)	727(611)
平成26年度	141(124)	144(127)	147(131)	145(131)	139(124)	139(124)	855(761)
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
平成25年度	130(110)	135(114)	134(112)	134(112)	133(115)	139(120)	1532(1294)
平成26年度	143(128)	142(127)	143(129)	141(127)	146(134)	149(136)	1719(1625)

()内は内数で委託件数

上記件数に介護予防ケアマネジメントに関連する相談・訪問件数は含まれない。介護予防ケアマネジメントでは毎月1回の状態確認、3ヵ月に1度の訪問が義務づけられており、また、他機関とのサービス調整や本人等からの相談も随時受けつけ、個別のニーズに対応している。

3 重点計画実施状況

(1) 介護サービス事業所への支援

1 包括のみの場合と合同での居介支連絡会を毎月開催してきた。制度改正を前にした情報提供やケアマネジメント業務に役立つ内容を企画した。26年度はケアマネジャー同士の交流だけでなく、訪問介護事業所にも参加を呼び掛けて連携を深める取り組みを行なった。

また新人ケアマネジャー向けに『ルーキーズ』勉強会を3包括で続けた。日々の業務における疑問などに答えてきた。

連絡会や担当者会議などでケアマネジャーと顔を合わせる機会を増やし、相談しやすい環境づくりに努めた。困難ケースへの対応には、行政や関係機関との仲介役となり、同行訪問やカンファレンスの開催などに繋げてきた。

(2) 災害時要援護者支援体制への取り組み

条例改正に伴う災害時要援護者の増大に伴い、鶴見区役所の『災害時要援護者支援事業』にモデル地区として平安町が選ばれたことから、関係者連絡会にメンバーとして参加。見守り支援員による日頃の見守り活動の中で発見した、要支援・要介護者対象者に対して地域包括支援センターがフォローしていく事を確認。実際に見守り支援員の統括である民生委員からの連絡により安否確認や相談支援を行った。

各地域の防災訓練には今年度も参加し、災害時要援護者避難について情報交換や車いす操作レクチャーを実施した。

特別避難場所設置訓練の際に、地域防災拠点と鶴見区役所よりご協力をいただき、改定されたマニュアルに従った災害時要援護者の受け入れ訓練を館内で実施。受け入れの流れを共有することができた。

(3) 介護予防の普及・啓発

地域の介護予防活動につなげる、横浜市元気づくりステーション、5年目になるゆうづる倶楽部では、営業していなかった時間をご厚意により当初より提供し

てくれていた喫茶店「ブランチ」閉鎖に伴い、その近くの町内会館に場所を変えることになった。会館利用に際しては、地域のかたの協力もいただき、そのままスムーズにメンバーが定着し、毎回十人強の参加で毎週活動している。新規の参加者も数人入っている。リーダーとなる方の雰囲気作りや参加者への配慮も育っており、ほぼ自立して行っている。また、二つ目の横浜市元気づくりステーション、「たのしいかい」は2年目になり、参加者と区、包括で相談しつつ、世話役となるかたたちが、事前準備や打合わせを自分達で行うなど、今後に向け自主的になってきている。市場第二地区の方にも参加いただけるように、会場を市場第二地区の市場小学校コミハとしたが、地元の参加者が少ないのが今後の課題である。

介護予防普及強化事業、介護予防活動推進では、

- ① 尻手、菅沢町、上町の町内会館で、口腔、運動機能向上、認知症予防など、各3回の講座を行った。ゆうづるで行われている事業では出会えない方々を知り得、健康指導を行えたが、一方で参加者が十人未満の時もあり、広報や情報提供などの課題が残る。
- ② 初めてノルディックウォーキング講座を行い、反響も良く、多くの参加者とその後も数人であるが継続して鶴見川沿いなど集まって歩いている。潮田地区と合同で行う機会も得られ、他包括や老人会、保健福祉関係者と連携することができた。
- ③ 認知症予防レクレーション、3A講座を行った。その後、数人のボランティアさんが手を上げて下さり職員と協力体制で月1回続けている。段々増え前は25人の参加があった。
- ④ 性の社会交流やボランティア育成の機会として「男の料理」を3回行った。地域交流部門と協力することにより、事業の運営や支援体制が豊富にできた。講師はなくとも、参加者たちでその後も料理を楽しんでいる。地域の情報や人材などを地域の会合や老人会等に出向かせて頂き、膝痛予防「わっくん体操」や筋力維持の体操、ミニ健康講座など行い、介護予防に関して普及啓発を行った。いまだ地区によっては包括の予防活動やゆうづる事業もあまり知られていないのも課題のひとつである。

※参照資料・・・「資料4」

【③（予防）通所介護事業所 （予防）認知症対応型通所介護事業所】

1 概況

要支援・要介護と認定された高齢者を対象に、身体機能の維持や向上、身体清潔保持、また生活に楽しみや張り合いを持てるように各種サービスの提供を行った。

2 実績

(予防) 通所介護事業所

<平成 26 年度>

単位：人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者数	84	81	79	81	79	76	77	79	79	80	82	84	961
延べ利用者数	686	696	637	709	688	692	707	686	651	584	649	733	8118
日平均利用者数	26.3	26.7	25.4	26.2	26.4	26.6	26.1	27.4	28.3	24.3	27	28.1	26.6

<平成 25 年度>

単位：人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者数	91	85	84	86	86	83	85	84	84	84	82	84	1018
延べ利用者数	711	704	648	682	671	627	726	695	644	521	562	697	7888
日平均利用者数	27.3	25.2	27.1	25.2	24.7	25	26.3	26.7	25.3	23	24.3	26.8	26

※26年度は1日平均利用者人数が26.6人で、前年度比0.6人増となり、2年連続の平均利用者数減に歯止めがかかった。しかし、登録者数が減少しており、一人の利用者が複数回デイサービスを利用している状態となっている。今後入院、入所等も予想される為登録者数を増やすことが課題となる。

認知症対応型通所介護事業

<平成 26 年度>

単位：人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者数	9	9	11	11	11	11	11	11	11	10	11	10	126
延べ利用者数	68	74	91	111	88	103	103	103	90	83	95	101	1110
日平均利用者数	2.6	2.7	3.6	4.1	3.3	3.9	3.8	4.1	3.9	3.4	3.9	3.8	3.6

<平成 25 年度>

単位：人

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録者数	14	13	13	10	10	9	10	10	11	10	10	9	129
延べ利用者数	149	136	106	105	97	92	95	89	79	60	60	61	1129
日平均利用者数	5.7	5.0	4.2	3.5	3.8	3.6	3.5	3.4	3.2	2.7	2.7	2.6	3.7

※26年度は上半期の利用者人数が減少した為、1日利用者人数が3.6人となり前年度比0.1人の減少となった。

平成 26 年度内部研修実施状況

	4月		5月	6月	7月	8月	9月
研修内容	個人情報保護	守秘義務	認知症対応	感染症対策	接遇マナーコミュニケーション向上	事例検討会	防災消火訓練
	倫理規定	ドライバース	事事故例	介護技術		リスクマネジメント	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
研修内容	事故報告事例	介護技術	ヒヤリハット事故防止	人権/虐待	感染症対応対策実施	利用者合同避難訓練	
		送迎担当安全運転					

ボランティア受け入れ状況												(人)
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
イベントボランティア団体	ハーモニカ演奏 合唱グループ	ハーモニカ演奏 ギター演奏	ハーモニカ演奏	ハーモニカ演奏 合唱グループ	ハーモニカ演奏	ハーモニカ演奏 マシツクショー	大正琴 ハーモニカ演奏 ギター演奏	ハーモニカ演奏 ミュージックパ ル歌謡ショー	ハーモニカ演奏	江戸芸 かつぼれ ハーモニカ演奏 歌謡ショー	ギター演奏 会 ハーモニカ演奏	ハーモニカ演奏 合唱グループ 大正琴
イベントボ ラ参加人数	10	4	2	10	2	4	10	14	2	8	4	16
いきいきボ ランティア 等	45	47	29	33	32	31	35	33	36	19	34	48
年度合計	55	51	31	43	34	35	45	47	38	27	38	54
平成25年度	31	37	46	53	40	36	43	47	48	22	36	57

3 重点計画実施状況

(1) ケアプラザ併設の高齢デイサービスの在り方検討

認知症対応型に於いて、2階のサークル活動の見学と一部参加等ケアプラザ内にて楽しみながら地域の方々との交流活動が定着した。また、市場地区ゆうづる夏祭りではケアプラザ活動のいきいきボランティアとバザーを開催するなど、ケアプラザでの活動機会を捉え、他者との関わりふれあい等を多く持てる環境づくりを行った。

(2) 人材育成と体制の充実

生活相談員のミーティングを通し、サービスの見直し振り返りと改善点を明確にし個別の送迎ニーズの対応がより詳細にできるようになった。また介護技術の充実とリスクマネジメントの強化、サービス提供手順の見直し等により浴室内の事故発生がゼロになった。

(3) 利用者数の増加の強化

様々な機会を捉え、ゆうづるデイサービス事業の紹介を行ったが、認知症対応型デイサービス利用者のうち施設に入所する方が相次ぎ、既存の契約者数が減少し、利用人数の横這い、下降が続いたが、前年度よりは数字が増えた結果がでた。一方、通常型デイサービスにおいては入所する方、逝去する方が相次いだこと、また冬期の利用者減が著しく続き目標数値に届かない結果となり、今後の課題を残すものとなった。

4 その他

(1) いきいきボランティアを含めた懇親会を定期的実施し意見交換等を行うことによりコミュニケーションがより活発化され、ボランティアが他のボランティアを紹介するなど輪が広がり自主的で積極的な活動が行えている。

(2) 下肢運動器具 5 台、全身上肢運動器具 1 台による運動を利用者が自主的に行

える環境が定着し、午前入浴前後の時間、午後機能訓練体操後に運動する機会を提供した。

(3) 鶴見区歯科医師会の協力による歯科検診が26年度も行われ、地域の歯科医師による無料歯科検診と歯科相談を行った。登録利用者の約半数以上の方が検診を受け、受診結果から歯科通院等を行う利用者も複数出て健康増進に役立った。

(4) 市場中学校生の職業体験学習の受入れ5人、鶴見中学校生徒の福祉体験実習5人の受け入れ実施し、中学校生徒の社会学習の場として定着している。

(5) 台風による交通障害が懸念されたため、10月6日に独居、日中独居の方等一部の方を除き、昼食、入浴、機能訓練、おやつの順にサービス提供を行った。

【④居宅介護支援事業】

1 概況

平成26年5月から特定事業所Ⅱとなった。主任ケアマネジャーの設置、24時間連絡体制、研修計画に基づく研修会の実施、内部会議を通して相談体制を強化した。細やかな対応が出来る範囲で新規利用者を積極的に受け入れるなど、できる限りご希望に添えるようにした。また、鶴見区の委託で認定調査も行った。

2 実績

利用者推移表

(単位；人)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規	2	1	1	0	0	2	0	1	2	1	3	2
継続	104	106	106	107	107	106	107	105	104	104	105	106
辞退		1			1	1	2	2	2		2	2
理由		逝去			引越し	入所	引越し、逝去	逝去	逝去		逝去	逝去
合計	106	106	107	107	106	107	105	104	104	105	106	106
(うち給付のない利用者数と理由)	入院3、老健3、サービスなし1	入院4、老健2、サービスなし2	入院5、老健2、サービスなし1	入院6、サービスなし2、老健3	入院7、サービスなし1、老健2	入院7、サービスなし2、老健1	入院6、老健1、サービスなし2	入院5、老健1、サービス利用なし3	入院4、老健1、サービス利用なし2	入院5、老健2、サービス利用なし2	入院4、老健2、サービス利用なし2	入院4、老健4、サービスなし2
介護給付	88	86	90	87	88	87	87	86	89	89	89	88
予防給付	10	10	9	9	8	10	9	9	10	10	10	8
給付合計	98	96	99	96	96	97	96	95	99	99	99	96
前年度介護給付	84	86	87	87	88	89	88	89	89	89	89	85
前年度予防給付	10	11	11	11	10	10	10	10	10	10	10	8
前年度給付合計	94	97	98	98	98	99	98	99	99	99	99	93

給付人数 (単位；人)

	介護給付	予防給付	認定調査
平成26年度	1053	112	119
平成25年度	1050	121	120

介護度別給付人数

(単位；人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
平成26年度	1	7	9	50	14	10	5	96
平成25年度	3	5	10	44	18	7	6	93

3 重点計画実施状況

- (1) 特定事業所加算を5月から取得し、経営が安定し単独での黒字となった。
- (2) 介護保険制度改正への対応として、研修に参加し早めに利用者等に説明をした。

●鶴見市場コミュニティハウス “ゆうづる”

1 概況

地域で暮らす人々の活動や交流の場として、生涯学習の場として、様々なジャンルにわたる教室やイベントを開催した。地域ケアプラザとの複合館という特徴を活かし、福祉的な要素を織り込みつつ、地域や関係機関との連携を密にし、各種事業を実施した。

また、依然として地域内の工場跡地等にマンションの新築が続いており、若い世代の転入増加が顕著という背景のもと、子育て関連事業の充実・拡大にも注力した。

2 実績 ※参照資料・・・「資料3」

3 重点計画実施状況

(1) 退職者・高齢者のために

健康カラオケ教室、健康麻雀サロン、歌声喫茶、カルチャー教室、パソコン教室、パソコン相談室等のイベントを開催し、家に閉じこもりがちな高齢者等の外出を促すとともに、軽易な体操を組み入れて健康増進も図った。また、地域で支援の必要な方の情報を得るような取り組みも行った。

(2) 増加する子育て世代のために

- ①新たに転入した子育て世代に親子で楽しめる多くのイベントを企画・実施した(親子クッキング、絵本読み聞かせ、ウッドデッキで水遊び、サンタ・鬼派遣事業等)。このことがコミュニティハウスの認知度を高めることにつながった。
- ②子育て世代の交流や子育ての悩みを気軽に話し合える事業を企画・実施した(、子育て支援会議カフェコメット、地域育児支援イベント、ゆうづるンバ、ソフトエアロビ等)。

(3) 小・中・高校生の居場所づくりのために

平日放課後や土・日曜日の居場所として、ゆうづる文庫の充実・整備、ゲームやトランプなど貸出用品の充実、夏休みと冬休み期間中の自習室開放等を実施した。

青少年の来館者数は、22,139人(25年度19,399人)で対前年比14%増となった。また就学前の幼児については、10,771人(同11,084人)で対前年比微減となった。

なお、新規事業として中学生のための学習支援事業を企画したが、対象生徒の募集方法等に課題があり、事業実施には至らなかった。今年度は、生活困窮者自立支援法が施行されたこともあり、行政の動向や同法の運営状況等を把握しつつ、事業実施の方向性を探っていきたい。

(4) 障がい児・者との交流のために

地域住民と障がい児・者との交流を図るために大型のイベントを実施した（オール市場ゆうづる夏祭り、のど自慢大会、鉄道フェスタ、Xmasコンサート、クラシックコンサート等）。

(5) その他の事業

世代間交流、異文化交流さらに国際交流のための2回目のイベントとして、韓国の留学生が講師となり同国の宮廷料理を手軽に楽しむクッキング交流会を開催した。その他、新規事業として身近な法律問題を取り上げたやさしい法律教室、横浜市職員落語愛好会による出前寄席、地域の高齢者を講師とした写真教室等を開催した。

(6) 地域の情報発信

地域の情報発信の拠点として、提供方法の改善と提供先を拡大した。

情報紙「イッピー」の発行と近隣施設への事業チラシの配布、ホームページの更新のほか、地域のミニコミ誌への連絡を密にした。

4 その他

(1) 来館者数と貸館利用率

来館者数は年間 81,891 人（25 年度 76,473 人）と対前年比 7% 増となった。また、貸館利用率は全体で 47%（同 46%）であった。

(2) ゆうづる文庫（図書貸出し）

図書蔵書数は 5,805 冊(25 年度 5,642 冊)となり、図書貸出数は対前年比 7% 減の 4,043 冊（同 4,391 冊）であった。

平成26年度 豊岡就労支援事業所 麦の家 実績

豊岡就労事業（定員20人）

()は昨年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計		
福祉活動実績の部	開所日数	21	20	21	22	17	20	21	19	19	19	19	21	239(240)		
	稼働率等	延利用者	355	360	366	395	290	341	360	333	325	317	311	341	3,739 (3469)	
		1日平均	16.9	18.0	17.4	18.0	17.0	17.1	17.1	17.5	17.1	16.7	16.4	16.2	17.1 (14.5)	
就労活動収支の部	収入の部	製造販売の部	営業日数	21	21	21	21	16	20	21	18	19	18	19	21	236(237)
			客数	1,576	1,415	1,364	1,383	1,062	1,518	1,471	1,277	1,250	1,132	1,327	1,478	16,253(16,049)
			売上	1,230,820	1,288,390	1,206,605	1,142,640	1,030,450	1,252,964	1,480,010	1,279,651	1,149,710	1,024,520	1,154,120	1,293,705	14,533,585(13,812,888)
			1日平均売上	58,610	64,420	57,457	54,411	64,403	62,648	70,477	71,092	57,486	56,918	54,958	71,873	61,583(58,282)
	利用者工賃	利用者工賃	308,520	310,650	316,260	342,441	257,810	297,500	316,705	281,720	281,040	279,870	274,148	299,730	3,566,394(2,710,210)	
		賞与					194,000				390,000				584,000 (668,000)	

1人平均 18,446(19,911)円
1ヶ月工賃

|

社会福祉法人大樹 平成26年度(4月～3月)事業実績

★ つるみ地域生活支援センター(横浜市障害者相談支援事業)

()内は25年度実績

	相談支援事業												
	相談対象者(障害別)			相談者			相談内容						
	知的※1	身体※2	精神※3	本人	家族	行政等	就労	健康医療	人間関係	生活等	社会資源	自施設利用	その他
4月	78(67)	10(6)	7(5)	110(95)	113(102)	246(243)	22(24)	34(35)	43(34)	61(92)	140(110)	12(6)	45(23)
5月	78(58)	12(8)	6(6)	112(82)	118(83)	294(243)	28(25)	44(36)	51(42)	59(80)	162(114)	11(8)	56(26)
6月	83(65)	13(8)	7(4)	158(82)	125(99)	298(201)	16(18)	67(37)	30(25)	60(51)	238(109)	14(12)	44(23)
7月	85(67)	12(9)	5(6)	154(97)	135(98)	372(234)	33(14)	50(42)	36(22)	108(63)	234(145)	17(6)	64(29)
8月	80(59)	10(10)	5(6)	138(90)	109(103)	299(220)	11(8)	55(44)	34(26)	124(68)	177(112)	20(10)	37(30)
9月	78(59)	10(9)	5(7)	112(61)	92(88)	309(187)	16(20)	40(34)	38(14)	69(45)	194(107)	18(7)	39(30)
10月	87(75)	11(8)	6(7)	134(82)	122(104)	299(223)	15(16)	58(24)	36(39)	127(59)	249(126)	25(8)	43(40)
11月	77(73)	9(9)	6(6)	117(97)	95(115)	184(247)	14(11)	30(44)	31(22)	101(58)	138(140)	16(7)	38(48)
12月	73(72)	9(9)	6(6)	98(67)	86(104)	184(202)	6(4)	59(43)	35(36)	70(55)	124(103)	10(12)	32(27)
1月	78(70)	11(7)	5(6)	112(78)	110(109)	230(193)	6(15)	67(36)	25(21)	107(52)	127(120)	22(13)	54(26)
2月	95(73)	9(6)	6(5)	134(86)	136(104)	295(217)	19(25)	62(49)	29(10)	144(39)	129(144)	27(11)	46(24)
3月	104(75)	10(7)	7(6)	146(88)	154(94)	355(197)	17(17)	86(48)	40(27)	128(36)	193(137)	5(9)	43(41)
合計	996(813)	127(96)	71(75)	1,525(1,005)	1,395(1,203)	3,365(2,607)	203(197)	652(472)	428(318)	1,158(698)	2,105(1,467)	197(109)	541(367)

※1 発達障害含む ※2 重症心身障害含む ※3 高次脳機能障害含む

地域活動交流事業/コミハ 26年度 参加者実績

対象	事業名	日時	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		実施回数	参加人数	内容	※参加費(円)	
			回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	回	人					回
高齢	1 転骨OB会明日香	毎週火曜日	4	47	4	48	4	48	5	49	4	30	5	35	4	34	3	30	3	24	4	35	4	39	4	40	48	459	介護予防体操	500	
	2 骨密度測定	年6回																				1	40					1	40	介護予防体操、	100
	3 ヨガ健康体操	毎月第4金曜日	1	19	1	20	1	20	1	18	1	18	1	18	1	34	1	30	1	15	1	22	1	20	1	21	12	255	ヨガ	300	
	4 はまちゃん体操	毎月第2、第4水曜日	2	47	2	45	2	43	2	39	2		2	40	2	40	2	33	2	35	2	41	2	39	2	40	24	442	はまちゃん体操	240	
	5 ほがらか教室	毎月第3金曜日	1	150	1	103	1	103	1	94	0	0	1	86	1	200	1	100	1	72	1	162	1	79	1	102	11	1251	健康づくり	800	
	6 健康づくり教室体験	年1回									1	40																1	40	健康づくり	80
子育て	7 子育て支援者相談事業	毎週金曜日	4	91	5	96	4	75	4	109	4	77	4	117	5	114	4	111	4	104	3	76	4	128	4	119	49	1217	子育て相談	500	
	8 ゆうづるキッズイベント	毎月第1、3火曜日	3	165	2	113	2	165	2	145	2	166	3	234	2	163	2	155	2	145	2	179	2	127	2	185	26	1942	読み聞かせ等	1800	
	9 キッズだって夏祭り	夏祭り									1	200																1	200	夏祭り特別イベン	100
	10 ゆうづるルーム	毎日	20	326	19	260	20	417	21	503	20	402	19	456	21	464	17	367	18	233	18	255	18	303	21	344	232	4330	フリースペース	7000	
	11 ウッドデッキで水遊び	全6回									2	138																2	138	プール遊び	150
	12 コメット交流会	年2回																							1	32	1	32	交流会	50	
	13 カフェコメット	毎月第3水曜日	1	107	1	14	1	24	1	59	0	0	1	30	1	34	1	7	1	7	1	32	1	19	1	32	11	365	カフェ	300	
	14 カフェ&プリマ&アレンジメント	夏祭り									1	70																1	70	カフェ&フラーワー アレンジメント& プリマ	200
	15 コメット座談会	年2回					2	167																				2	167	保育園・幼稚園に	100
	16 ゆうづるンバ	年4回															2	43										2	43	子育て講座	200
	17 ままっぶ	月2回	0	0	1	16	1	16	1	16	0	0	1	16	1	16	1	17	1	17	0	0	0	0	0	1	17	8	131	子育て支援	
	18 出張カフェ		1	20	1	13	2	26	2	60	1	25	1	22	1	6	2	35	2	48	0	0	2	27	2	34	17	316	子育て講座	200	
	19 ソフトエアロビ教室	年6回	1	10	1	11	1	11	1	14	1	8	1	12	1	14	1	12	1	12	1	8	1	8	1	8	12	128	養育者支援	360	
	20 絵本お話し会	年12回	1	36	1	26	1	33	1	46	0	0	0	0	1	40	1	26	1	17	1	28	1	38	1	36	10	326	ポッチャ	50	
21 地域育児支援イベント	年1回													1	234												1	234	読み聞かせ等	200	
22 親子クッキング	年1回	1	33	1	35	1	27	1	38	0	0	1	29	1	28	1	27	1	27	1	29	0	0	0	0	9	273	読み聞かせ等	200		
障がい	23 つるみサマーフレンド	年2回									1	30															1	30	余暇支援	60	
	24 製品販売	年24回	2	40	2	40	2	40	2	40	2	40	2	40	2	40	2	40	2	40	2	40	2	40	2	40	24	480	作業所製品販売	200	
	25 スポンジテニス	年1回									1	20															1	20	スポンジテニス	40	
	26 アートプロジェクト	年3回													1	8	1	10	1	8							3	26			
	27 のど自慢大会	年3回							1	77															1	62	3	189	カラオケ	100	
子ども	28 七夕飾り付け	年1回							1	500																	1	500	子どもボランティア	20	
	29 昔遊び教室	年6回									1	60															1	60	昔遊び	50	
	30 夏祭り	年1回									1	3000															1	3000	祭り	1300	
	31 マージャンサロン	年24回	2	90	2	84	2	84	2	84	2	88	2	91	1	42	2	81	2	80	2	73	2	87	2	88	23	972	マージャン	600	
	32 鉄道フェスタ	年1回																					1	600			1	600	鉄道祭り	300	
	33 カルチャー教室	年4回			2	23					1	16	1	10											1	22	5	71	ブリザーブドフラ	50	
	34 夏休み自習室開放	夏休み期間							9	15	20	31															29	46	自習室	100	
	35 クリスマスコンサート	年1回																	1	135							1	135	コンサート	150	
	36 パソコン相談室	年12回	1	11	1	11	1	12	1	8	1	7	1	13	1	7	1	15	1	9	1	9	1	8	1	13	12	123	パソコン相談	100	
	37 サンタ・オニ派遣事業	年5回																		14	380						14	380	サンタ派遣	150	
	38 地域活動紹介クイズ	年1回									1	400															1	350	地域活動紹介ク	300	
	39 オール市場消費生活推進活動										1	40															1	150	消費生活活動	100	
	40 スポーツセンター健康づくりゲーム										1	60															1	93	健康づくり普及	100	
	41 ゆうづるコンサート												1	90													1	90	健康づくり普及	90	
	42 歌声喫茶		1	100													1	104									2	180	健康づくり普及	100	
	43 健康カラオケ教室(初級)	年25回	2	29	2	27	2	27	2	19	2	29	2	29	2	34	3	43	2	27	2	28	2	23	2	28	25	343	生涯学習	300	
	44 写真セミナー																		1	22							1	22		20	
	45 やさしい法律教室	年2回			1	12													1	12							2	24		30	
	46 出前寄席	年1回													1	67											1	67		60	
47 男の料理教室		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	18	2	42	0	0	1	18	1	14	1	11	6	103	ボランティア育成	80		
48 ポッチャ交流会		0	0	0	0	0	0	1	26	0	0	1	22	1	11	2	29	2	31	1	25	1	9	1	10	10	163	障害理解	100		
49 パソコン教室	年2回													4	91											4	91	パソコン初級講	120		
ボラ	50 ボランティア感謝祭	年1回																						1	60	1	60	交流会	40		
	51 個人活動		40	77	46	70	39	60	42	42	42	43	40	43	40	68	33	39	34	42	34	45	33	42	32	43	455	614		100	
	52 団体活動		8	47	7	38	6	31	6	39	6	40	6	39	9	49	10	71	7	41	10	57	8	43	9	55	92	550		300	
広報	53 イッピー発行	毎月1回	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	12	毎月広報誌発行(15000(枚))			
	54 ホームページ	毎月1回	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	24	ホームページ更新			
計			99	1448	106	1108	98	1432	113	2043	126	5081	99	1475	109	1859	99	1470	110	1636	92	1205	91	1696	98	1445	1240	21967		18490	

